

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

10

Oct 2015
Vol.245



ときめき人
須藤 勝子さん

【特集】

DAISUKE

【写真集】

登米彩の夏景色

【特集2】

挑戦の夏

【今月の表紙】

登米市中学校総合体育大会駅伝
競走大会から
(詳細は11月号で紹介)

2005.4.1~

市制施行
10周年

これまでも
これから

DAISUKE

—夢の途中—



小松大祐。ラグビートップリーグ「リコーブラックラムズ」の中心選手
鈴木大助。世界が認めるフリースタイルモトクロスライダー
30歳を過ぎた今なお、第一線で輝きを放つ登米市が生んだトップアスリートの肖像に迫る



おじいさん、おばあさん いつまでもお元気で

おめでとう
ございます
祝100歳

市では老人の日(9月15日)、老人週間(9月15～21日)、敬老の日(9月21日)にちなみ、90歳469人、95歳150人、99歳42人、101歳以上34人の長寿者の皆さんに対して、敬老祝金を贈呈し長寿を祝いました。市内の最高齢は、女性では三浦牧さん(109歳・明治39年7月生まれ)。男性では後藤四郎さん(103歳・大正元年10月生まれ)です。100歳の祝金は、長寿者の誕生日に市長などが自宅や施設などに伺い贈呈しています。平成27年度は8月末現在で4人に祝金を贈呈しました。



登米市の長寿者

—敬称略—

氏名	性別	地区(行政区など)	年齢
三浦 牧	女	豊里町(白鳥)	109
小竹 喜恵	女	南方町(高石)	105
菅原 やい子	女	石越町(第十二)	105
及川 みはる	女	南方町(狼掛)	104
高橋 あさよ	女	豊里町(新町)	104
千葉 ヒロエ	女	東和町(米谷8区)	103
三浦 やす子	女	東和町(米川2区)	103
西條 カメヨ	女	津山町(黄牛町)	103
中澤 静子	女	登米町(鉄西)	103
後藤 四郎	男	中田町(長崎)	103
千葉 トモエ	女	中田町(長崎)	103
千葉 みきを	女	中田町(茶畑)	103
佐々木はるの	女	南方町(北本郷)	103
佐々木 よし	女	迫町(的場)	103
鎌田 かち	女	迫町(江合)	102
佐藤 あやふ	女	登米町(金沢山)	102
佐々木ほさし	女	津山町(横山4区)	102
鈴木 ちや子	女	米山町(朝来)	102
星 清志	男	迫町(茂栗)	102
宮川 コマツ	女	東和町(錦織1区)	102
佐々木トキコ	女	迫町(錦西)	102

氏名	性別	地区(行政区など)	年齢
伊藤 一二	男	豊里町(竹花)	102
守屋 あや子	女	迫町(大浦)	102
伊藤 ちよの	女	登米町(金沢山)	102
高橋 かつ江	女	迫町(駒木)	101
伊藤 さと	女	迫町(駅前)	101
櫻井 ひふ子	女	津山町(柳風園)	101
加藤 さつよ	女	豊里町(保手)	101
阿部 とぎ	女	東和町(米川8区)	101
小野寺まつみ	女	中田町(冠木)	101
佐藤 さたよ	女	迫町(大浦)	101
日野 幸季	男	南方町(平貝)	101
稲邊 としひ	女	石越町(遠沢)	101
西條 ゆきえ	女	津山町(横山10区)	101
山崎 ヒサコ	女	東和町(錦織2区)	100
千葉 かつえ	女	迫町(山の上)	100
佐藤 なみこ	女	迫町(山の上)	100
宮崎 豊一	男	迫町(鉄砲丁)	100
新田 東	男	迫町(光ヶ丘東)	100
千葉 たねよ	女	迫町(大浦)	100
遠藤 たかの	女	東和町(錦織2区)	100

名簿は平成27年9月17日現在のもの。年齢は平成28年3月31日現在で、100歳以上を掲載(本人および家族から了承をいただいた人のみ)

お誕生日おめでとうございます

東さんは米山町桜岡中新田で5人兄弟の長男として生まれました。24歳から満州に憲兵として出兵し、26歳で結婚。4年後には長男が誕生しましたが、終戦後に旧ソ連軍の捕虜となり、4年半極寒のハバロフスク(ロシア)で生活。帰国後は、リヤカーで行商を始め、昭和30年頃には迫町内に「新田商店」を構えました。現在は週5日デイサービスに通所しながら、孫夫婦と曾孫3人と暮らしています。健康の秘訣は何でも食べるということ。東さん、孫嫁の富喜子さんは「百歳おめでとくございませう。これからは生きさせてください」と話していました。



あずま
新田 東 さん
(迫町・光ヶ丘東)
大正4年9月1日生まれ
【満100歳】

男性最高齢 103歳 後藤 四郎さん(中田町・長崎)

刺身や筋子などが好きな四郎さん。健康の秘訣は毎日2個食べる卵と養命酒。奥さんのミネ子さんは95歳。頼りにしています。薬や金銭管理は自分でしており、楽しみはデイサービスで入るお風呂です。



女性最高齢 109歳 三浦 牧さん(豊里町・白鳥)

食事はお粥やきざみ食ですが何でも食べます。お話しをしたり歌を歌ったりすることが好きです。歌は「九段の母」が得意で、歌詞カードを見ながら歌います。字を書くことは昔から好きで習字もします。



1) スティックで熱く激しいプレーが持ち味。しかし、普段は明るく、心優しい好青年。子どもからの人気も非常に高い
 2) 「男は背中で語る」。多くは語らず行動で示すタイプ。試合中、苦しくなったときには、この背番号が仲間にも勇気を与える（取材は7月に実施。今期からは13番）

小松大祐

佐高ラグビーで身に着けた「諦めない強さ」と「雑草魂」そのハートと才能には、元日本代表もほれ込んだほど。結果が全ての世界で競争を勝ち抜く力は「雑草魂」と「向上心」30歳を超えた今なお目標は「日本代表」



Daisuke Komatsu

1984年9月27日、迫町茂栗生まれ。東京都世田谷区在住。新田小、中学校時代は、野球で活躍。佐沼高校入学後、姉や中学時代の恩師などの勧めでラグビーの道へ。2003年立正大学へ進学。07年株式会社リコーに入社し、リコーブラックラムズへ入部。10年に社員からプロ選手へ転向。12年から昨年まで主将を務める。ポジションは高校、大学時代はウィングで、社会人では、センターやフルバックなどもこなすマルチプレーヤーとして活躍。今期からはセンターヘコンバート。妻、娘の3人家族。173cm、85kg。

ラグビー選手としては小柄な173センチ。だが、ビルドアップされた胸板や二の腕太ももは、鍛え抜かれた証。ラグーマン小松大祐が誕生したのは高1の時。中学時代の恩師と姉祥子さんの勧めで、6年間続けた野球から転向した。

「小さい頃から運動が好きでした。全身を使ってプレーするラグビーは性に合っています」と振り返る。類まれな身体能力と真摯な姿勢で1年からレギュラーに。持ち前の俊足と機敏性を買われてウィングを任せられた。プレーヤールールは、頭ではなく心と体で習得した。

当時の佐高ウィングティーンは、全国の上位常連で県内敵なしの仙台育英から1トライをもぎ取ることだった。3年の花園予選は、決勝で育英と対決。目標の1トライは奪ったが、優勝には届かなかった。「全力で勝負できました。決勝に進めたのは、先生の指導、OBや保護者の皆さんの支援があったから」と今でも感謝を忘れない。

高校卒業後は立正大へ。かつて、日本代表のスクラムハーフとして名をはせた堀越正巳監督に誘われた。小松の

才能にほれ込んだ堀越監督は、登米市や合宿先まで足を運んで熱心に勧誘した。当時、立正大は関東大学ラグビーリーグ戦2部に所属する発展途上チーム。一流の指導者と夢のあるチームに、小松自身も大きな魅力を感じた。

「負けてもいい上がる。諦めずに挑み続ける。これが原点」

小松は立正大に進んだ。大学では、高校時代には経験したことのない熾烈なポジション争いが待っていた。花園常連校はもとより全国から有望な選手が集まってくる。本場ニュージーランドなどの海外留学生も少なくない。そんな中、練習試合で出場が訪れた。ウィングとして出場した小松は、闘志あふれる積極果敢なプレーで存在感を示し、1年からレギュラーに抜てきされた。

「つかんだチャンスを絶対には生かす。その思いを胸に全力でプレーしました」

その後、小松はチームの主力として活躍。3年時には目標の1部昇格を果たした。その夏、ラグビーU-23日本代表候補合宿が立正大で行われた。候補選手に欠員が生じたため、小松は補充選手として

合宿に参加。全国のJapan候補と国内最高レベルの練習を繰り返した。卒業後は普通に就職しようと考えていた小松の脳裏に「日本代表」の4文字がよぎった。

「日の丸を背負って戦いたい」

日を追うごとに膨らむ夢、強くなる思い。

4年夏、声を掛けてくれたトップリーグのチームを断って、小松はリコーブラックラムズを選んだ。1953年に創部したリコーは日本選手権優勝2回を誇るなど、和製オールブラックスの異名を取る古豪。しかし、小松が入社した当時は、伸び悩んでいた。「上を目指すチームで頑張りたい」

その言葉は、立正大へ進んだ時と同じだった。さらに、「ユニホームが格好良かったので」と少年のように笑う。

2012-14シーズンは主将を務めた小松。現在も中心選手として活躍する。

リコー9年目の夏に、もう一度目標を聞いた。

「チームの優勝と日本代表です」

迷わず、ぶれず、諦めずに挑み続ける彼は、いつも頂点を目指して原点にいる。

リコーブラックラムズ

1953年創部。62年の歴史を持ち、社会人大会優勝3回、日本選手権優勝2回を誇る古豪。ジャパンラグビートップリーグには発足初年度の2003-04シーズンから参加。07-08シーズンに一度降格を経験しているが一年でトップリーグ復帰を果たす。過去には世界的名選手である元豪州代表スティーン・ラーカムや現ニュージーランド代表マア・ノヌーらが在籍していた。今シーズンも豪州代表バーナード・フォーリー、サモア代表ティム・ナナイウィリアムズら強豪国代表選手が加入し、上位進出を狙う。7人制では、ジャパンセブンズ優勝2回を誇る。



クラブハウスには、日本選手権優勝トロフィーが燦然と輝いている



素顔の小松大祐

—彼をよく知る人たちに聞く—



ゆきお 小松幸夫さん(66)・ようこ 陽子さん(64)

小松選手の両親/ 迫町茂栗

名前は、大祐の祖父母が付けました。上二人は女の子だったので、待望の男の子が生まれ、すごく喜んでいました。祐という字には「神様など人知を超えた存在が助ける」という意味があり、多くの人を助けたり、助けられたりしながら大きくなってほしいとの意味が込められています。

小松家とは縁があり、当時お母さんは同僚、明子さんには英語を教えていました。高校入学後、部登録の朝に野球グローブを持って登校したので、慌てて「君はラグビー部でしょ」と肩を叩きました。入部した彼のプレーを見て驚きました。10年いや30年に1人の逸材でした。普通、人によつかるときはスピードを緩めるのですが、大祐は加速していきます。まさに「ラグビーをするために生まれてきた男だ」と確信しました。



リコーブラックラムズ 広報・普及担当 森谷和博さん(29)

末っ子の長男なので、家族全員から愛され、優しい性格に育ちました。小さい頃の姿からは、ラグビー選手になるとは思いませんでした。ところが性格とは裏腹に動きが活発で、よくけがをしていました。でも、そこで泣きもせず、痛いとも言わない。昔から我慢強かったですね。そう考えると、ラグビー向きだったのかもしれない。

中学1年の後半から高校1年の途中まで、大祐には全く手をかけられませんでした。二人とも、教員をしている中、明子の看病で手が回らなかったの。それと娘をなくしたショックで何も手つきませんでした。大祐には申し訳なかったと思っています。

私たちの気持ちが落ち着き始めた、高校1年の東北新人大会から試合を見に行きはじめました。黒沢尻工高戦で雨の中、泥だらけになりながら激しいタックルを繰り返す姿が、私たちに勇気と希望を与えてくれました。本当に感謝しています。

今は大好きなラグビーを1日でも長く続けてほしいです。そして、これまで同様、周囲への感謝の気持ちを持ち続けてほしいと思います。



佐沼高校時代の顧問 (米山町中町出身) 高橋英勝さん(53)

小松さんは、私が入社して間もない頃から声を掛けてくれて、最初に仲良くなった人です。明るく、楽しい人なのですぐに打ち解けられました。若手の兄貴分で、愛されるキャラクターです。入部して3年ほど、試合に出られない日々が続く、私は良く悩みを聞いてもらいました。しかし、小松さんは自分の悩みは全く話しません。自分のことよりも、チームや仲間の調子が悪いと悩んでいます。一人で抱え込みすぎではと心配になるときがあります。プレーヤーとしても間違いなく一流です。なぜ日本代表の声が掛からないのか不思議でなりません。

小松は、まもなく31歳になる。ラグビーの世界ではベテランだ。特にウイングやセンターなどのバックスと呼ばれるポジションは、スピード系のため、年を重ねるほど不利になる。そうした中、けががない限りスタメンで起用され続けている。

「元チームメイトで広報・普及担当の森谷和博さんは「戦術理解度が高く、局面を打開する力があります。チーム内では『困ったときの小松頼み』

という言葉があるほど、頼りになる存在です」と話す。堀口陽子アシスタントS&Gは「ベテランで小柄ですが、チーム内で体力面はトップクラスです。持久力と瞬発力に優れ、全てが平均点以上。つらく苦しい体力系のトレーニングでも手抜きはしませんから。またどんなときも弱みを見せず、明るくチームメイトを引っ張り求心力がありますね」と大きな信頼を寄せます。監督・コーチ陣からもこうした部分を高く評価されてい

る。小松は「3年前に結婚して、妻がしっかり食事の管理をしてくれています。苦手な食べ物もうまく調理してくれるので、非常に助かっています。以前は、休日も筋力トレーニングをしていました。体を動かしてはいないと不安でしたので。結婚して、娘が生まれてからは、家族との時間を大事にしています。オンとオフのメリハリがよかったので、ここ数年は若いときよりラグビーに集中できています」と語る。

手抜き妥協はしない 日々、一歩ずつ前進



1) 瞬発力と有酸素運動を兼ねたボクシングトレーニング。インターバルトレーニングで30分間続けるので、体力的に相当厳しい
2) 二人の姉のうち、特に仲が良かった故明子さん。彼女がいなければラグーマン小松は誕生していなかったかもしれない



鈴木大助

Daisuke Suzuki

1981年2月25日、迫町錦東生まれ。愛知県瀬戸市在住。3歳の誕生日前に父からミニバイクを預けられ、補助輪をつけて乗る。3人兄弟の長男で、次男拓也、3男耕太も小学校に入る前からバイクに乗りモトクロスを始める。高1で国際B級、高3で同A級ライセンスを取得し、同級125ccクラスで活躍。2002年からフリースタイルに転向し、世界最高峰の大会REDBULL X-Fightersなどにも出場。3男の耕太もフリースタイル選手。愛称は「DAICE(ダイス)」妻、娘、息子の4人家族。168㎝、65㎏。



モトクロス東北選手権5連覇や高校生での国際A級昇格
フリースタイル転向後には、世界最高峰の大会で入賞
数々の華々しいキャリアは、人知れぬ努力の賜物
自分と仲間を信じ、さらに夢へ向けて加速していく

父の趣味がモトクロス（以下MX）だったことから、おもちゃ代わりに預けられたミニバイク。気がつけば近場のコースでほぼ毎日練習していた。

「小3、4の頃はレースではなく、友達と遊びたいと思っていました。好きだけど、どこかで乗らされている感じがあったので」

鈴木は、日曜日に友達と遊んだ記憶がない。レースは金曜日練習走行、土曜日予選、日曜日が決勝のスケジュール。車で片道500kmの移動は当たり前だった。当然、学校行事は、出られないものが増えていった。

しかし、小5になるとレースに集中。MXは、小5からジュニアクラスにエントリーできる。ここでチャンピオンになるという明確な目標ができたからだ。

それまで、父親の指導の下、練習、大会に参加していたが、鹿島台町（現大崎市）のササキプロレーシングに所属し、本格的な体制でレースに参戦した。その成果は実り、中3までMX東北選手権ジュニアクラスで5連覇の偉業を達成。

「5連覇できたのは、チー

ムと家族のおかげ。当時の東北地区はレース環境があまり整っておらず、関東圏と比べレベルが高くありませんでした。自分が天狗にならないよう、レベルアップできるように、積極的に関東圏のレースに参加させてくれました」

その後は、順調にステップアップ。国際A級に昇格し、年間順位を11位まで上げた。

1990年代、米国でジャンプしながら、ハンドルから手を離したり、バイクを寝かせたりして観客へアピールするフリースタイルモトクロス（以下、FMX）がやはり始まった。

ちょうどこの頃、MXに限界を感じ始めていた鈴木は、FMXへの挑戦を決意した。周囲は猛反対。しかし、決意は揺るがなかった。FMXにかける思いを関係者にぶつけ理解を得た。

「MXは一人ではできないスポーツ。家族、チームやスタッフがなくて成り立っていません。その人たちには理解してもらいたかった」と振り返る。当時のスポンサーヤマハ発動機は、現在もバイクを提供。また、当時の仲間も暇を作っては応援に訪れている。

転向直後、日本には専用練習場はおろかコーチすらいなかった。鈴木は、全てが手探りの状態で2002年にアメリカのFMXの大会に初挑戦。しかし結果は惨敗。その時に手を差し伸べたのが、同じくFMXを始めたばかりの佐藤英吾だった。二人はFMX専用練習場を自力で作り、新しい技を身につけるため切磋琢磨。そして、世界で数人しかできなかった「バックフリップ」を成功させ、05年の世界大会で初優勝。佐藤も09年に年間総合3位を獲得した。

13年3月に「X-FIGHTERS 2013」第1戦に二人そろって出場が決定。世界的ライダーとなった二人は、同大会へ照準を合わせ、練習に打ち込んでいた。そんなところに突然の訃報。佐藤が練習中の事故で帰らぬ人となった。「英吾君が亡くなったのは悲しいけど仕方ないこと。人間いつかは最期の時を迎えるので」

淡々と語るが佐藤に対する思い入れは人一倍。その証拠に、ライダーたちの技を支えるランプ（ジャンプ台）と鈴木の体の中には「EIGO SATO」が刻まれている。



- 1) 見た目は「今時」で、明るく接しやすいキャラクターだが、中身は礼節をわきまえ、人とのつながりを重んじる日本男児
- 2) フリースタイル転向後から、鈴木が「匠の技」を支えるヤマハYZ250。大会や練習後は、すぐに洗車、整備され、常に万全の調子に仕上げられている



- 3) ファンサービスも丁寧に対応する。どんなに忙しくても笑顔で応える。FMXライダーの中でも人気は1、2を争う
- 4) 鈴木と二人三脚で、日本のFMXシーンをゼロから開拓してきた故佐藤英吾。「EIGO SATO」はいつまでもライダーたちと共にいる

素顔の鈴木大助

—彼をよく知る人たちに聞く—



鈴木さおりさん (35)・^{あやは}絢葉ちゃん(3)
・^{だいと}大飛ちゃん(1)/鈴木選手の家族

【妻さおりさん】高校卒業後、岩手県のスキー場でアルバイトをしているときに知り合いました。付き合い始めた頃、MXをしているのは聞いていました。でも、実績のある選手だとは知らず、実家に連れて行ってもらったとき、トロフィーや賞状の数を見て驚いたのを覚えています。

幼なじみの3人
大助は、小さい頃から何も変わっていません。何でも本気でやっていますね。
中学時代の夏休みのこと。普段はレースで休日がつぶれるので、ここぞとばかりに一緒に遊んでいました。そのときは、ザリガニ釣りに夢中になりました。中学生なのに(笑)。でも、集中力がすごくて、釣り上げた数では誰も大助にかないませんでした。
それと、いつも仲間の輪の中心にいました。大助がいると、話がまとまるんです。普段はおとなしい子も、大助が誘うと一緒に遊んでいました。気づくと、みんな大助に引き付けられてしまう。いまだに、大助に引き付けられっぱなしです。

彼は、物事をポジティブに考えられて、悩みを溜め込まないタイプです。一緒にいると、こっちまで楽しくなりますよ。純粋な人で、好きなものには真正面からぶつかって行くんです。ピーターパンみたいです。

でもピーターパンとは違い、夢ではなく現実にするところが彼の一番の魅力です。

【長女絢葉ちゃん】ブランコを作ってくれたり、一緒に遊んでくれたりするからパパ大好き。

【父和夫さん・母和子さん】遊び程度に乗せたバイクが、ここまでくるとは夢にも思いませんでした。

大助は小さい頃から面倒見が良く、仕事で忙しい私たちに代わり、弟たちの世話をしてくれました。そんな性格だから、多くの仲間たちともうまくやれているのだと思います。

息子全員がMXライダーになり、大助と耕太がFMX、拓也はバイクメーカーで仕事をしています。全員が、好きなバイクで身を立っているのだから幸せだと思います。どんな仕事も厳しい時代ですが、これまで通り前を見て、夢や目標に向かって行ってもらえればと思います。



幼なじみの3人
大谷光一さん(34) 迫町駅前
今野光さん(36) 迫町新町
渋谷亮人さん(34) 迫町中江

亡くなった英吾さんとダイス(鈴木の愛称)さんは、本当に尊敬できる人。だから、年齢なんか関係なく「さん」づけで呼んでいます。
4年前に福島県鮫川村の公衆浴場で知り合って、気づいたら仕事を手伝っていて、いつの間にか一緒に愛知県へ引越していったよ(笑)。ダイスさんは、年齢、性別問わず、分け隔てなく付き合うんだ。こんな年寄りでも、昔からの友達みたいだね。
ダイスさんは、他人の悪口を絶対に言わない。物事がうまくいかなくても愚痴もこぼさない。自分のことは常に後回しで仲間を優先。他人に苦勞は見せない。こんな男そうそういないよ。だからね、いつまでもダイスさんに付いて行くんだ俺は。



4年前から行動を共にする
とみやひろあきさん(73)

佐藤や仲間たちと立ち上げた全日本フリースタイルモトクロス選手権「GO BIG」は、今年5年目を迎えた。年間を通したシリーズ戦として日本各地で開催。各大会ごとに入賞ポイントが加算され、最も多く獲得したライダーがその年の全日本チャンピオンとなる。鈴木は、13、14年と現在2連覇中。今年も第2戦をホームコースである岩手県一関市の藤沢スポーツランドで8月23日に開催した。

「やっとここまで来ました」
「自分の好きなことで飯を食べる」が信念。自分だけではなく、共に活動する仲間の収入になるよう、数年前からランプを作り販売している。

「モノづくりが好きなのと、FMXの仕事と考えると、ここに行き着きました。きちんとした設備がないと、ライダーとしても成長できないので一石二鳥です」
ライダーとしての今後を聞くと「第一線の競技者としては、終わりが近づいていると思います」。誕生日を迎えると35歳。確かに肉体的なピークは過ぎていく。「でもね、コンテストもショーも、何歳になっても出続けますよ」。

「うまくなりたい。それだけですよ」
「いつまでもかっこいい技を決めたいじゃないですか。大きく進めなくてもいい。昨日より、少しでも進歩すればいいなって。現状維持は退化と同じなんです。まだまだうまくなれるはずなんです。自分はそう信じています。自分に負けるのは嫌じゃないですか。仲間がいないとうまくないこの競技。自分にはたくさん仲間がいますから」。

仲間たちと夢を追う 高みを目指して前進



1、2) ライダー兼運営者兼作業員など、一人で何役もこなす。トップライダーであり、主催者なのだから、仕事をしなくても誰も文句は言わない。しかし「飛ぶのも運営も準備も全部好きなので、やらないと気がすまないんですよ」と笑顔で語る





取材協力 / リコーブラックラムズ

Photo by tensai riot photography
Jason Halayko



Go Forward

— 諦めることなく前へ —

小松・鈴木両選手取材して思い出した言葉が2つある。以前、私が尊敬する2人の先輩が話してくれた言葉だ。

「人間、いつもプラスのことを言っていると、思いは叶うもんですよ。プラス志向が、ポジティブな考えや行動につながるんじゃないかね。反対に、マイナスのことばかり口にしていくと、夢はどんどん逃げていく。諦めない気持ち、努力する姿勢が大切なんですよね」

叶うという字は「口」に「十」（プラス）と書く。しかし、これに「一」（マイナス）を加えると、「吐く」になる。愚痴や弱音を吐いているうちは、思いを叶えたり、夢を実現したりすることはできない。

もう一つは

「知識より意識、能力より努力」

二人のDAISUKEは、苦しいこと、つらいことは一切言わず、常に高い意識を持ち続け、自分と支えてくれる全ての人を信じて努力してきた。2人は決してスーパーマンではない。自分の力で夢や目標を手練り寄せてきたのだ。それはこれからも変わらず、前へ進んで行く。



佐沼夏祭り 7月25～26日

1

1 神輿渡御では、津島神社やとめ青年会議所、みやぎ登米農協などのみこし6基がそろい、威勢よい掛け声が響いた。2 軽快なおはやしに合わせ幻想的で華麗な「豊里ねぶた」練り歩き、「よさこい」では見る人も演じる人も盛り上がった。3 恒例のもっこり和牛丸焼き。一晩かけて焼き上げ、ワインで仕上げた牛肉はまさに逸品

もっこり牛まつり 8月14日



4



2 YOSAKOI & ねぶた in とよさと 8月9日

3

登米の夏景色

登米市の夏を彩った
祭りを写真で振り返る

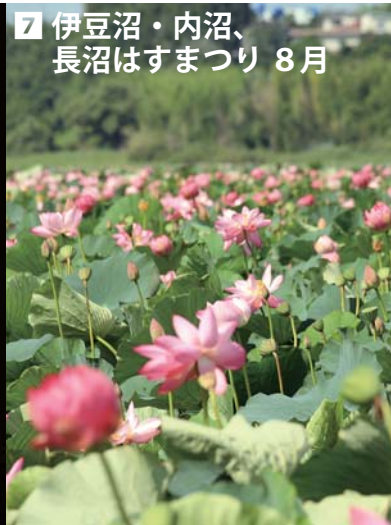
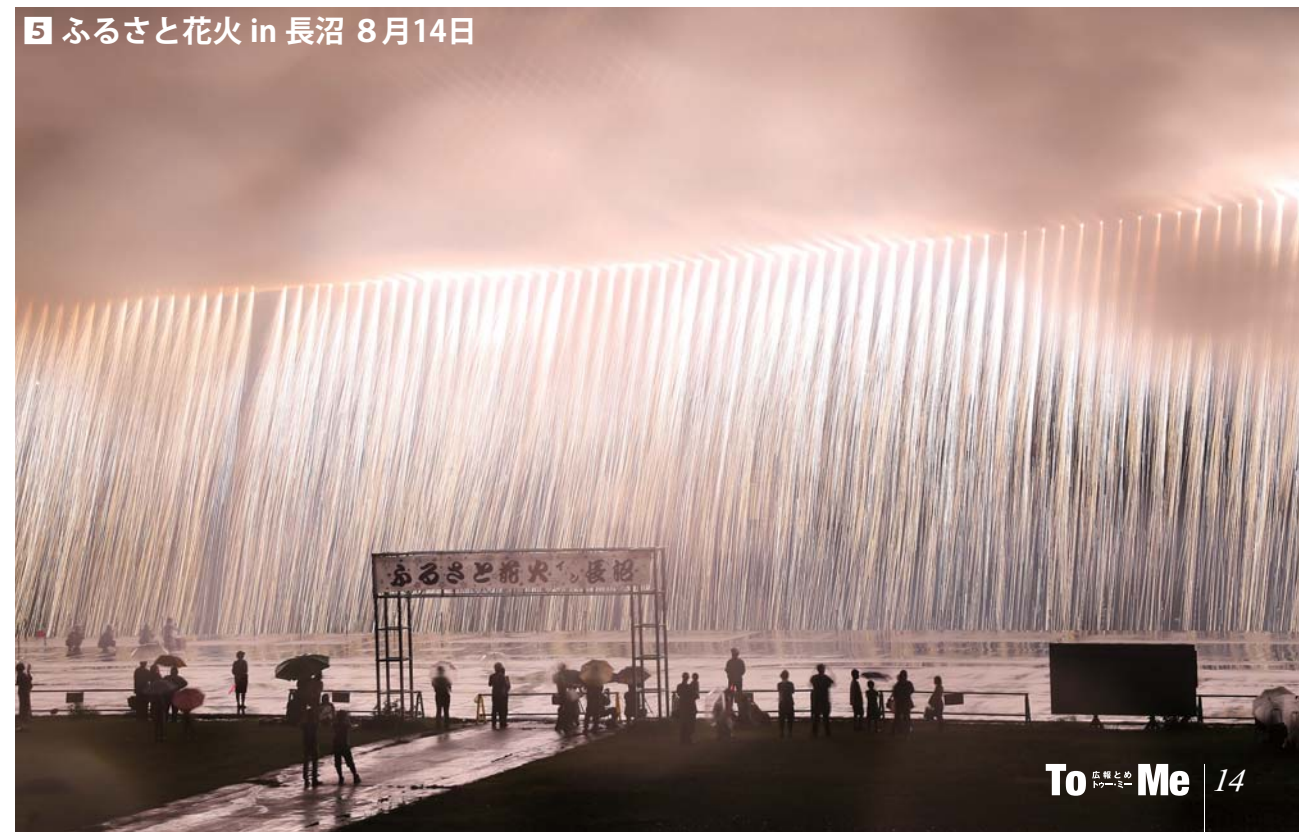


とよま明治村夏まつり 8月8日

6

5 みんなの募金で長さが変わる名物ナイアガラ花火。今年も全長200mを超え、雨の中訪れた見物客を魅了した

5 ふるさと花火 in 長沼 8月14日



7 伊豆沼・内沼、長沼はすまつり 8月

6 恒例となったお笑いプロレス。お笑いだけでなく、真剣な試合も見せ、観客を大いに沸かせた。7 数十万本のハスの花が咲く光景はまさに極楽浄土



佐沼夏祭り花火

恒久平和の願い込め

登米市戦没者追悼式 終戦70周年記念式典 同記念コンサートを開催

登米市戦没者追悼式は8月21日、登米祝祭劇場で開かれ、遺族など約450人が参列し、終戦70年の節目に恒久平和を誓いました。

黙祷後、布施孝尚市長は「私たちは恒久平和を強く願い、誤った歴史を繰り返さないよう、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に伝えていかなければなりません」と式辞を述べました。

村井嘉浩県知事（代読）などの追悼のことばに続いて、参列者全員が献花をし、静かに手を合わせ戦没者3459人の冥福を祈りました。

式後、登米市遺族会の終戦70周年記念式典とその記念事業として陸上自衛隊東北方面音楽隊による記念コンサートが開かれました。



戦争のない平和な現代。70年前に戦争があった事実を風化させず、未来に語り継いでいくことが私たちの使命です。



白菊を供え、手を合わせる参列者たち。恒久の平和を戦没者に誓いました。



見事な演奏と歌で遺族の心を和ませた。陸上自衛隊東北方面音楽隊。アンコールでは「登米市市民歌」を演奏しました。

【遺族の声】千葉正志さん（中田町野元）

父親は、小学3年の時に硫黄島で戦死しました。非常につらく悲しい思い出です。戦後の生活はどこも楽ではありませんでした。一家の大黒柱をなくした家庭は、特に大変でした。農家の仕事や地域の行事などがこんなに大変なのかと、あらためて父親のありがたみを痛感しました。毎日、泣きたくてのを我慢して過ごしていましたね。戦争などなくなってほしい、再び起きないでほしいと願いました。

あれから70年、毎年お盆が近づくと当時のつらい思い出がよみがえります。この思いは、後世に味わせたくないと思いました。国を守るために命を落とした多くの先人がいることで、平和な世の中があることを、若い皆さんには忘れないでほしいです。決して過去のことと風化させずに、自分たちの子ども、またその子どもたちに語り継いでほしいと思います。

楽しく認知症予防を

本市初の回想法講座開催

回想法講座「語らおう会！とめカフェ」（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター主催）は8月30日、迫公民館で開かれ、約60人が参加しました。

回想法は、高齢者の昔の話を聞くことで、心理的な安定や記憶力の改善を図る療法。講座では、「いきいき楽しく過ごすためには」を題にグループワーク形式で意見を交わしました。

中田町二ツ木から参加した三浦康子さんは「以前、回想法の本を読み、このような講座を探していました。この講座で回想法を学び、自分だけではなく周囲の認知症予防にも役立てたいです」と話していました。



グループワークでは、「楽しくお茶飲み」や「カラオケ」など自由に意見を書き出し、アイデアを出し合いました。
※認知機能検査を含む心理検査のみの希望者を受け付けますので、10月9日(金)まで長寿介護課（0220-58-5551）へお問い合わせください。

古里を語るひととき

在京町人会連総会を開催

本市出身の首都圏在住者たちで組織する在京町人会連絡協議会（遠藤誠幸会長）総会は7月22日、東京都台東区の東天紅上野店を会場に開催され、19人が出席しました。

総会では、事業報告や決算などについて審議されたほか、首都圏での登米市農産品の販売、登米市の夏のイベント、市民歌制定やふるさと応援寄附金の謝礼品拡充など、市の取り組みが紹介されました。総会終了後は、各町人会の近況報告や情報交換をし、登米市出身者の結びつきを強め、有意義なひとときを過ごしました。



総会後は懇親会を開き、大いに盛り上がりました。登米市合併10周年記念DVDなどを上映し、古里の情報を共有しました。

商売の難しさを実感

市内の中高生が起業体験

中高生が起業、創業に関わる一連の過程を体験する中高生起業体験プログラム in 登米は7月24日から実施、8月8、9日に迫町梅ノ木のウジエスーパー佐沼本店の駐車場に模擬店を設置し、商品を販売しました。

このプログラムには、市内の中高生16人が参加。4つのグループに分かれ、販売商品や事業計画の決定、資金調達など、市内の経営者からアドバイスを受けながら進めました。当日は肌寒く、カキ氷など冷たいものを販売したグループは苦戦。登米高2年の伊藤舞梨さんは「利益を出すのがこんなに難しいとは思いませんでした」と話していました。



お客さんからは「持ち帰りのコーヒーなどがあると良かった」などの声もあり、文化祭などと違い本物の難しさを痛感。

夏の終わりを楽しむ

章太郎記念館夏祭り開催

石ノ森章太郎ふるさと記念館夏祭りは8月22日、同記念館駐車場などで開催されました。

夏祭りでは、地元石森の若者グループ「石若会」のおみこし練り歩き、中田町上沼のよさこいダンスチーム「舞姿道みろく」のダンスなどが披露され、集まった来場者を楽しませました。一番人気のお楽しみ抽選会は、3万円の旅行券や自転車など豪華景品が当たるので、みんな当選結果に一喜一憂。見事3万円の旅行券が当たった中田町南町の境秋洋さんは大喜び。「運営している保育所の園児と福祉施設の入所者に役立つ使い方を考えます」と話していました。



催し参加者だけではなく、来場者も一緒にダンスを踊るなど、夏の終わりの祭りをみんなで楽しみました。

新庁舎建設市民会議から「新庁舎建設に関する提言書」が提出されました

登米市新庁舎建設に関する提言書

8月11日、登米市新庁舎建設市民会議から「新庁舎建設に関する提言書」が布施孝尚市長に提出されました。

市民会議では、市民の目線に立ちながら、現庁舎の抱える問題点や新庁舎建設の方向性を踏まえ、今後の市役所庁舎のあり方をどのように考えていくか議論しました。

提言書は、市が目指す理想の庁舎像や必要となる機能などについて定める「新庁舎建設基本計画」に反映されることになります。

今号は、市民会議で議論された内容をお知らせします。

平成27年8月



▲浅野委員長(左)から布施市長へ提言書を手渡しました

登米市新庁舎建設市民会議は、平成27年2月2日に発足。新庁舎の建設に市民皆さんのさまざまな意見や提案を反映させるため、学識経験者や公共団体の代表者、無作為抽出による市民からなる15人の委員で構成され、いろいろな角度から話し合われました。市民会議では、今後の計画に意見を反映させるため、新庁舎のあり方や機能、規模、場所などについて検討しました。委員の皆さんが率直な意見を発言できるように、ワークショップの手法を導入。全10回による市民会議の内容をまとめ、提言書を作成しました。

提言書の内容

●新庁舎の機能

【テーマ】「安心・安全・思いやりのある登米市らしさ」

【提言】市民と行政の一体を図り、まちづくりに生かすとともに、市民へ解放された建物であってほしい。防災機能はもちろん、ユニバーサルデザインなど全ての人に優しく、思いやりのある建物であってほしい。

① 思いやりのある建物

▼ユニバーサルデザインなど利用者に優しく利便性が高い
▼気軽に訪れ、市民交流ができるスペースがある

② 登米市らしさ

▼地元産材や自然エネルギーを活用
▼市の文化(漫画を含む)や歴史をPRできる

③ 対応力向上プログラム

▼ワンストップサービスによる利便性の向上

④ 防災機能の充実

▼災害対策本部としての十分な機能
▼耐震機能の充実

●新庁舎の規模

【テーマ】「職員と市民が一体となつて、登米市らしさをか

もしだせる、人に優しい庁舎」

【提言】市民が集まり、職員と市民が一緒になつてまちづくりを進めてほしい。効率的な機能の配置と時代背景や市民ニーズの変化に対応できるような規模であってほしい。

① 効率的な施設インフラ

▼自然エネルギーを活用した効率の良い建物
▼充電スタンドなどの燃料供給設備

② 市民と職員のパフォーマン

ス向上
▼市民サービスおよび執務室のネットワーキング環境
▼十分な会議室を設置

③ 市民交流が盛んになる施設

▼気軽に利用できる育児スペース
▼保育施設や図書館などを併設し、子育て支援および学習施設

④ 人に優しく、登米市らしさ

▼多目的トイレや気軽に利用できる休憩所
▼登米市の特産品をPRできる直売ブース

●新庁舎の場所

【テーマ】「現在(いま)そして未来へ」

【提言】費用対効果と、全ての利用者にとって利便性が高く、市のまちづくりを次の世代へ受け継ぐための庁舎・場



所であってほしい。人口集積や交通事情、市街化区域などの将来を予測し、総合計画をはじめとする各種計画との整合性を図りながら検討してほしい。

- ① 建設コストを抑えられる場所
- ▼費用対効果を考慮し、できるだけ事業費が抑えられる
- ② 利便性
- ▼買い物など、他の用件も同時に行える
- ▼病院、医療機関などへのアクセスが良い
- ③ 現在の市街地を中心
- ▼既に「にぎわい」が形成されている
- ▼地域活動が活発になり、地域経済の好循環が期待される

市民会議を終えて



Toshi Asano
委員長 浅野 俊さん(東和町)

新庁舎建設の検討に当たっては、登米市らしさや未来のまちづくりなどについて、共に考えを共有するため、委員の提案によりワークショップを導入し検討を進めてきました。

登米市は、自然環境や歴史、文化を継承しながら、それぞれの地域が特性を生かした魅力あるまちづくりを目指し、互いに力を合わせていくことが必要です。登米市を住み良い地域として次の世代に引き継ぐためには、市民・市および議会が、それぞれの持つ個性や能力を最大限に生かせるまちづくりの核となる庁舎が大切であると考えました。これまでの議論を踏まえ、登米市の新しいまちづくりには、新しい庁舎が必要であると強く感じました。建設コストなど、将来的な財政負担を考えると合併特例債の活用が有効であると考えています。

新庁舎建設を機に登米市のさらなる発展を期待します。

Information 02

石巻専修大学開放講座in登米

現在、日本では人口減少、少子高齢化問題に直面し「地方創生」が叫ばれています。地域づくり、地域活性化に向けて、地域に根ざした大学の果たす役割は重要になってきています。このため、本市と連携協定を締結している石巻専修大学から講師を迎え、地方創生や今後の地域づくりをテーマに市民向けの開放講座を開催します。皆さんのご来場をお待ちしています。

【日時】平成27年10月22日(木)、10月29日(木)、11月5日(木)、11月12日(木) / 午後6時30分～8時

【場所】中田生涯学習センター 学習室(中田町上沼字館43)

【テーマ】「登米から考える地方創生」

【募集範囲】高校生以上の市民(80人程度)

【参加費】無料

【申し込み方法】事前に名前、電話番号、参加人数を電話、メールまたはファクシミリでお申し込みください。

【申し込み・問い合わせ】産業経済部ブランド戦略室

☎0220(34)2549

☎0220(34)2801

✉brand@city.tomeni.yagi.jp

Information 03

養育里親になりませんか

里親とは、何らかの事情で親と一緒に暮らすことができない子どもを、自らの家庭に迎え入れ、温かい雰囲気の中、愛情と真心を持って育ててくれる人をいいます。

実際に子どもを預かる期間は数日から数年までさまざまです。児童養護施設などに入所している子ども

を、夏休みや冬休みの数日間だけ預かることもできます。詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(児童福祉係)

☎0220(58)5562

☎0225(95)1121

県東部児童相談所



Information
07

第10回登米市スポーツまつりを開催
(第4回メイヤーズウォーク同時開催)

市のスポーツ振興を支える関係団体が主体となり、スポーツまつりを開催します。
【日時】平成27年10月12日(月) 体育の日/開会式 午前9時
【場所】登米総合体育館(とよま蔵ジヤム)
【内容】ウォーキング、ノルディックウォーキング(用具貸し出し可)、アーチェリー、

弓道、健康づくりに関する情報発信など
※参加者には、適塩に配慮した健康とん汁をサービス。
【参加費】無料
【申込期限】9月30日(水)
【問い合わせ】登米市スポーツまつり実行委員会(中田総合体育館内)
☎0220(34)7302

市と県では豊かなみどりの森を次世代に残すため、植林体験の参加者を募集します。
【日時】平成27年11月5日(木) 午前10時~午後1時(小雨決行)
【集合場所・時間】米川小学校体育館前(東和町) / 午前9時15分
【植林場所】東和町米川字西綱木地内
※植林会場までバスで送迎します。

【募集人員】50人(先着順)
【参加料】無料
【持参する物】軍手、長靴
【申込期限】10月23日(金)
【申し込み方法】電話、ファクシミリ、電子メール
※ファクシミリの場合は、参加者の住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上「市民参加の新たな森林づくり参加希望」と明記してください。
業経済部農林政策課(林業振



興係
☎0220(34)2716
FAX 0220(34)2801
✉ nourinseisaku@city.rome.niyagi.jp

Information
06

市民参加の新たな森林づくりの参加者募集
くみどりの森林を次の世代へ

Information
04

農地中間管理事業で農地を貸し付けませんか

農地中間管理機構(公益社団法人みやぎ農業振興公社)では、所有者から農地を借り受け、経営規模を拡大する担手に貸し付ける農地中間管理事業を実施しています。農地貸し付けの相談は農業委員会、申請はみやぎ登米農業協同組合および南三陸農業協同組合で受け付けています。

なお、本事業を利用し、要件を満たした場合には機構集積協力が交付されます。しかし、貸付年度により交付単価が一部異なりますので早めにご相談ください。

【問い合わせ】
産業経済部農林政策課(経営支援係)
☎0220(34)2491
農業委員会事務局(農地管理係)
☎0220(34)2317
みやぎ登米農業協同組合営農経済部営農企画課
☎0220(23)1600
南三陸農業協同組合津山経済店
☎0225(69)2780

■機構集積協力の交付要件など

	経営転換協力金 (農地の出し手への支援)	耕作者集積協力金 (農地の出し手などへの支援)
交付対象者	▶ 離農する農業者 ▶ 農業部門を削減する農業者 ▶ 農地の相続人で農業経営をしない者	▶ 自作地の場合は所有者 ▶ 貸付地の場合は利用権に基づいて耕作していた農業者
交付要件	機構に全ての自作地、または削減する部門の自作地を10年以上貸し付ける。	下記のいずれかの農地を機構に10年以上貸し付ける。 ▶ 機構が所有権、または中間管理権を有する農地などに隣接する農地 ▶ 2筆以上連担化し、一連の農作業の継続に支障が生じない農地
交付単価	▶ 0.5ha 以下 30万円/戸 ▶ 0.5ha 超 2.0ha 以下 50万円/戸 ▶ 2.0ha 超 70万円/戸	▶ 平成27年度 2万円/10a ▶ 平成28年度 1万円/10a
交付時期	平成27年12月までの貸付分は平成28年3月末までに、平成28年1月以降の貸付分は平成28年度に協力金が交付されます(貸付年度による交付単価の変更はありません)。	平成27年12月までの貸付分は平成27年度単価で平成28年3月末までに、平成28年1月以降の貸付分は平成28年度単価で平成28年度に協力金が交付されます。
	平成27年12月までの貸付分については、農業委員会での相談終了後、平成27年10月20日までJA各支店の営農経済センターへ申請してください。	

Information
08

平成27年国勢調査を実施しています
~9月26日から調査員が訪問し調査票を配布~

国勢調査は、平成27年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人および世帯が対象です。

平成27年国勢調査は、少子高齢化社会の日本の未来を描く上で欠くことのできないデータを得るために実施するものです。調査結果は、さまざまな法令に利用が定められているほか、社会福祉、雇用政策、生活環境の整備、防災対策など、私たちの暮らしのために役立てられます。

調査票には、世帯員をものなく記入してください。



調査票は、調査員に直接提出いただくか、郵送でも提出いただけます。

※既にインターネットで回答いただいた世帯は、紙の調査票に記入する必要はありませんので、調査員は訪問しません。

国勢調査
2015

国勢調査コールセンター
☎0570(07)2015
※IP電話からは03(4330)2015

■設置期間：平成27年8月24日から10月31日まで
■受付時間：午前8時~午後9時(土・日・祝日も利用できます)
※おかけ間違いのないようご注意ください※ナビダイヤルの通話料金は、一般の固定電話の場合、全国一律で市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHSの場合は、それぞれ所定の通話料金となります※IP電話用電話番号の通話料金は、所定の通話料金となります。

Information
05

贈与税納税猶予農地の特定貸付制度

農地の生前一括贈与で、納税猶予制度により贈与税納税猶予を受けている人でも、特定貸付制度で農地中間管理機構などへ農地を貸し付けることができます。

納税猶予制度は、農地の確保、相続による農地細分化の防止などを税制面から支援する制度です。贈与を受けた農地が、適正に農業に利用されることを前提とした特例措置のため、売買、転用、貸付、耕作放棄地化した場合、それまで猶予されていた贈与税に利子税を加えて納付することになります。

特定貸付制度は、要件を満たした場合に納税猶予を受けている農地を貸し付けても「特定貸付」として納税猶予が継続されます。

【問い合わせ】
農業委員会事務局(農地管理係)
☎0220(34)2317
佐沼税務署
☎0220(22)2501
※佐沼税務署に相談する場合は、事前に予約が必要です。

特定貸付制度の要件
①受贈者(後継者)が担手に貸し付けた時点で65歳以上の場合は、納税猶予を受けてから10年以上耕作していること(貸付時の年齢が65歳未満の場合は20年)
②農業経営基盤強化促進法に基づき、農地を農地中間管理機構・農業生産法人・認定農業者などに貸し付けること
③貸し付けてから2カ月以内に税務署に届け出ること



豊里

夏の一大イベント！暑い1日 8月9日

「2015YOSAKOI &ねぶた in とよさと」が、陸前豊里駅前通りを会場に開催されました。よさこい44団体1200人による総踊りでスタート。よさこい各チームのこだわりある衣装と、躍動感あふれる踊りで会場は、雨も吹き飛ばす熱気に包まれました。また、観客は踊りに合わせ、手拍子を送り一緒に楽しみました。夜には、軽快なおはやしに合わせて、華麗で幻想的なねぶた13基が駅前通りを練り歩きました。

大豊作を願う、秋の伝統行事 8月22日

大うちわと風追いはやしで二百十日と二百二十日の風を追い払い、秋の大豊作をもたらすという「風追い祭り」は、約300年前から、西野米岡地区に伝わる伝統行事です。今年の当番町は中町行政区。山車には今年の干支である「未」をモチーフにした見事な飾り物。はやし車にはこの日のために練習に練習を重ねた子どもたち。稲穂が黄色く色づき始めた町内に鳴り響く涼やかなおはやしが、秋の訪れを知らせてくれました。



米山



迫

みんなで事故をクールダウン 8月28日

佐沼交通安全母の会(鈴木信子会長)が、夏の交通事故防止運動「交通安全クールダウン作戦」を実施。夏は暑さでドライバーの集中力が欠け、居眠り運転などによる事故が増加することから、冷たいおしぼりを配り、気を引き締めてもらうことを目的に毎年開催しています。当日は雨上がりで蒸し暑い中、母の会や佐沼警察署など15人が参加し、赤信号で止まったドライバーへ「安全運転をお願いします」と声をかけながら冷たいおしぼりを手渡しました。



石越

早起きは三文の徳。朝市開催 8月12日

みやぎ登米農協石越支店米検査場前で「石越町ふれあい朝市」が、午前6時から開催されました。当日は野菜などの生産者や町内の商店が参加。『さんごやセット(豆腐2丁・油揚げ2枚・こんにゃく1枚)』、地元の野菜、旬の果物、漬物、餅の加工品や花などのお盆用品を求めて約800人が買い物に訪れました。先着100人には、石越産大豆を使用した納豆のプレゼントや、かき氷の無料サービスもあり、子どもからお年寄りまで買い物を楽しんでいました。

地域で守る交通死亡事故ゼロ 8月10日

交通死亡事故ゼロ1500日達成表彰が登米総合支所で開催され、寺池地区コミュニティ推進協議会(阿部さち子会長)へ市交通安全対策協議会と登米警察署長から褒状が贈られました。褒状を授与した阿部会長は「交通死亡事故は被害者の家族も加害者もつらい思いをするので、地域の皆さんと協力しながら今後もゼロ日数を更新していきたい」と述べました。死亡事故ゼロ1500日は、本年8月9日に達成しました。



登米

小学校最後、最高の夏休み！ 7月30～31日

南方地区3小学校6年生の交流を図り、自主性・協調性・リーダーシップなどを養うことを目的に「大嶽山キャンプ村2015」が大嶽山交流広場で開催されました。この事業は、旧町時代から30年以上続いており、今年は児童42人が参加しました。野外炊飯、キャンプファイヤー、ジュニアリーダーとのダンス、レクリエーションゲーム、竹細工や興福寺の嶽内住職の講話など、盛りだくさんの内容で夏の楽しい思い出となりました。



南方



東和

楽しく食べて遊んで自然体験 8月8～9日

源氏ポタル交流館で「ポタルの里であそぼう！」が開催されました。これは、栗原市鶯沢教育センターと青少年のためのあそびの探検隊(千葉淳代表)の事業に、東和教育事務所が初めて共催し開催。両市の小学生14人とジュニアリーダー4人が参加しました。初日はカレー作りやキャンプファイヤー、2日目は沢遊びや野外でのパン焼き、流しそうめん、スイカ割りなどをしました。児童は「沢でカニや魚を捕まえて楽しかった」と笑顔で話していました。



津山

横山コミュニティ盆踊り大会 8月14日

横山地区の夏の風物詩「横山コミュニティ盆踊り大会」が津山公民館駐車場で開催されました。当日は、時折小雨が降る天候にも関わらず、地区住民や帰省客などがたくさん集まり、やぐらの周りで盆踊りを楽しみました。また、踊りの合間には、子どもはラムネ、大人はビールの早飲み大会や豪華景品が当たる抽選会も行われ、会場は大きな歓声に包まれていました。

今度は中学校でまた会おうね 8月8～10日

中田地区5小学校6年生の交流宿泊「八ん子かっぱ村」が、国立花山青少年自然の家で開催されました。この事業は中学校入学前の仲間づくりと小学校最後の夏休みの思い出づくりを目的に毎年開催されており、今年は124人が参加し、沢登りやキャンドルサービスなどのグループ活動をしました。参加した児童は「初めて体験した沢登りは雨が降っていたけど楽しかった。たくさんの友だちができて、中学校で再会するのが楽しみ」と話していました。



中田


8月27日までの3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち
むし歯がなかった子は、市内7地区で51人中41人でした



11月はいい歯の日キャンペーン月間です

今年も開催!!
「体の入り口、心の出口」を考えるフォーラム

【日時】平成27年11月1日(日)正午～午後4時
【場所】登米祝祭劇場
【入場料】無料
【展示内容】
健康情報満載の体験・展示コーナー(正午～午後4時)
スペシャルトーク(午後1時30分～3時30分)
「板東英二のがむしやら人生」
ゲスト 板東英二氏
(タレント・元プロ野球選手)
※坂東さんの源泉かけ流しトークで、元気をもらいましょう!終了後、サイン会を開催予定です。
【主催】登米市歯科医師会
【後援】登米市
【問い合わせ】津山歯科診療所 ☎0225(68)3244




一般向け

PICKUP_04 誰も知らない領事の仕事



大日方 和雄、船越 博、山本 譲 / 著
迷子探しから病人、ケガ人の世話、盗難、誘拐やテロ対策まで。元領事の三人が当時の苦労話を披露。

PICKUP_05 「贈る」と「お返し」のマナー



松本 繁美 / 監修、主婦の友社 / 編
冠婚葬祭、お中元・お歳暮...意外に知らない贈答マナーを分かりやすく解説します。

PICKUP_06 あの家に暮らす四人の女



三浦 しをん / 著
古びた洋館に住む女4人の日常は、今日も豊かでかしましい。残念な女たちの現代版『細雪』。

●Library Topics

みんなの図書館

～利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします～

「第16回登米市絵本原画展」を開催しました

9月3から6日まで、市絵本原画展を登米祝祭劇場で開催しました。今回の絵本原画展は、絵本作家黒川みつひろ氏の絵本「恐竜トリケラトプスとテリジノサウルス」の原画や絵本、県図書館から借りた本など約200点を展示。展示した原画は、本市出身の小峰紀雄氏(小峰書店社長)から「ふるさとの子どもたちにその美しさを見てほしい」と提供いただいたものです。
来場した子どもたちは「すごい」「カッコイイ」など楽しそうに話していました。

～参加者の声～

恐竜の本を読みました。いろいろな恐竜が出てきて面白かったです。絵本は家でも読んでいます。また来てみたいです。



阿部 百華ちゃん (6) 南方町・山成

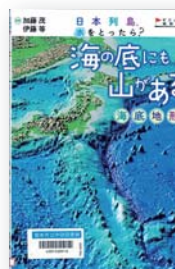
子ども向け

PICKUP_01 10代からの情報キャッチボール入門



下村 健一 / 著
LINE、メール...自己流で大丈夫? 情報を受信、発信するための基本を学べます。

PICKUP_02 日本列島、水をとったら?



加藤 茂、伊藤 等 / 監修
海水の下に隠されている驚くような地形など、日本の海底地形に迫ります。

PICKUP_03 あなたをずっとあいしてる



宮西 たつや / 作絵
ティラノサウルスの群れのボス、ゼスタと心優しいセラの子のトロンは、ゼスタのように強くなりたいたいと願いますが...



■開館時間 午前9時～午後5時
■休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など
(中田図書室は祝日も開館)
※その他、館内整理など不定期での休館もありますのでお問い合わせください
■問い合わせ 追 図書館 ☎22-9820
登米図書館 ☎52-5330
中田図書室 ☎34-8081

This Month Pick Up Hot Communication

☑ Books

☑ Health

☑ Young

☑ Dream

☑ Child

☑ Half Century

☑ One's Home



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

千葉 唯花さん

ちば・ゆいか 中津山小6年
米山町・猪込

おばを見習って美容師に

私の将来の夢は、美容師になることです。おばが美容師をしていて、何度かお店に行ったことがあります、仕事ぶりを見てなりたいたと思いました。

おばが髪を切っているとき、お客さんも一緒に笑っていて、すごく楽しそうでした。帰るときも、お客さんはすごく満足気で、おばも、喜んでもらえて安心しているようでした。美容師は、お客さんを笑顔にできるいい仕事だと思いました。

私は、この夢が叶うように、美容師の資格のとり方や礼儀作法などをいっぱい勉強したいと思います。そして、自分のお店を持って、おばと一緒に来てくれたお客さんを笑顔にしたいです。

Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



けいと
児玉 慶人くん(1)

平成25年12月19日生まれ
迫町・光ヶ丘東
玲さんの長男

車と絵本、お散歩が大好きです！お散歩に行くのが分ると靴下と帽子を持ってきてくれる、おりこうさんです。

最近妹に負けている優しいお兄ちゃん。頑張れお兄ちゃん。これからも仲良く元気いっぱい育ててね。



こうが きよか
佐藤 煌雅くん(2)、聖華ちゃん(1)

平成25年3月9日生まれ、平成26年8月6日生まれ
中田町・町
和明さんの長男、長女

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

山形 晴佳さん(28)

やまがた・はるか
津山町・宮町

- ★身長と血液型 158センチでB型です。
- ★現在は 津山町森林組合で事務員をしています。連休や休日など、森林組合が経営する「道の駅津山もくもくランド物産館」が忙しいときには手伝いに行きます。大学時代は自然環境を学び、森林ボランティアなどにも参加しました。実はチェーンソーと刈り払い機の資格を持っています。今は山に関わる仕事ができ毎日楽しいです。
- ★自分の性格 マイペースです。我が道を行くタイプで、これと決めたら周りが見えなくなります(笑)。
- ★趣味は 「和太鼓」です。町内の和太鼓グループ「津山創作太鼓」に入っています。幅広い年代で和気あいあいしていて楽しいですね。太鼓を始めてからは地元の知り合いが増え、地域とつながりもできました。
- ★休日は 太鼓の公演や買い物に出掛けることが多いです。
- ★理想の男性像 ご飯をおいしそうに食べる人。自分の考えをしっかりと持っている人。30歳までには結婚したいですね。
- ★今やってみたいこと コーヒーが大好きで、物産館ではサイフォンでコーヒーを入れています。もっとおいしいコーヒーの入れ方を勉強したいです。将来は、自然の中で、津山のおいしい水を使ったコーヒーを提供できる喫茶店が開けたらいいですね。
- ★登米市について一言 資源が豊富で、農業も先進的だと思います。一度地元を離れ、外から見てあらためて自分のまちを自慢に思います。



～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
<応募方法>①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字程度)
⑧写真データを添付し応募してください<応募先>総務部市長公室広報広聴係 〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1
Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp



猪股 龍一さん (80歳) トミ子さん (78歳) 石越町・赤谷 昭和33年11月入籍

生まれ変わっても一緒にになりたいね

★結婚当時の思い出は 【龍一】 親戚の紹介で結婚しました。大工で、昭和29年から神奈川県へ出稼ぎに出ているので、結婚までは1回しか会ったことがなかったね。 【トミ子】 栗原市志波姫出身で、嫁いだ当時は山の中という印象が強かったです。 ★印象深い出来事は 【二人】 母が子宮がんのため、53歳の若さで亡くなったことです。長い間入院し、自宅に戻れずに亡くなったから悔やまれてなりませんでした。 【トミ子】 義母とはとても仲が良かったのでつらかったね。 ★現在の楽しみは 【龍一】 石越町ベタンク協会、会長とゲートボール協会、グ

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

ふるさとを思う心

東京中田会は平成の掛け声と共に、東京中野のサンプラザホールで産声を上げました。郷里と関東在住の人たちを結ぶ交流の場として発足。ふるさとの懐かしい味や農協の協力を得て、大型トラックに満載した農産物の即売など大変な賑わいを見せました。一方、会員の情報誌として「えんつこ」を発行しており、昨年には発足25年を記念して「えんつこ総集編」を編さんし、配布しました。

小峯 喜八さん (78歳)

登米市在京町人会連絡協議会役員、東京中田会会長 中田町(上沼)出身



自分生まれ育ったふるさとを思う気持ちは、誰でも同じだと思います。しかし、ふるさとのために何をしたらいいのか、喜んでもらえるのか 東京中田会は今一歩前進です。例えば、東京中田会として考えると、中田町域で今一番困っていることは何か、遠くにいる私たちにできることは何かないのか。お金や物だけでなく「三人寄れば文殊の知恵」で、何かしらの役に立つ事ができるものと思います。ぜひ市の方から具体的な情報の発信をお願いいたします。 しかしながら年を追うごとに、少子高齢化が進み、若い人たちは学業が終わるとふるさとに帰り、徐々に会員数は減少へと向かっています。誠に残念ですが、この問題は当会だけのことでありません。町人会全体の認識ですので、これからも綿密に協議していきたいと思っています。 今年は登米市市制施行10周年を迎え、旧9町の行政理念が一つになり同化できたのではないかと嬉しく思います。我々在京町人会もこれを機に、数年ごとにも「在京町人会合同交流会」を実施して見てはいかがでしょうか。また新たな展開があるのではないかと期待しています。 私たち東京中田会も、常にわがふるさと・登米市の応援団の一員として共に歩み、日々発展して行きたいと思っています。

おらほの道の駅

道の駅津山「もくもくランド」



「もくもくランド秋祭り」 「もくもく餅まき大会」

今月は、道の駅津山「もくもくランド」の佐藤賀津雄駅長にお話を伺いました。 Q道の駅津山でこれから開催するイベントなどを教えてください。 10月18日(日)に「もくもくランド秋祭り」を開催します。



自慢のオール有機肥料米。生産者の阿部隆吉さん(左)と佐藤駅長(右)。

公園内では新米もちつき大会や大福引抽選会、特設ステージでは歌謡ショーやビンゴゲーム大会など盛りだくさんの内容で、毎年市内外から大勢の人が訪れます。 また、今年も同日に「もくもく餅まき大会」も開催します。約5千個の餅を午前と午後の2回に分けてまきます。子どもよりも大人が夢中になって拾っていますね。 Q今の季節、お薦めの農産物を教えてください。 これからは新米。津山の清水で栽培したおいしいコメです。リピーターが多く関東にも配送しています。新米の時

期は玄米もあり、店内の精米機で精米することができま す。つきたては最高ですね。 また、店頭にはダイコンやハクサイ、キャベツなどの秋野菜も多く並びます。ランド内の食事処「木里口」では、コメの粉で作った米粉麺と地元 の野菜をたっぷり使用した『野菜あんかけ』が人気です。 【問い合わせ】道の駅津山「もくもくランド」 ☎0225(69)2341



↑モチモチとした食感の「登米粉めん」



↑米粉麺を使用した『野菜あんかけ』

短歌 まちの文芸

作品募集! ●11月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、9月30日(水)までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。 ●応募者多数の場合選考して掲載します。

風呂あがり庭で腰掛け汗をふく 雲間の三ヶ月涼しげに見ゆ。 程良く千せし梅成り美味しいと 言いつつ孫娘の顔はめっちゃやくちや 精いっぱい短かき命終りしか 朝露にぬれ動かぬ熊蟬 書道やめ菊も盆栽も止めたれど やめてなるまで國風詩吟 緞を持ち東の空は朝焼けの 雨上りの畑に大根蒔かねば

- 本宮やつの (中田) 熊谷タヘ子 (中田) 小野寺典子 (中田) 千葉 源治 (中田) 阿部ふみ子 (米山)

墓参り紅葉のような手を合す 曾孫を抱いてママは汗だく 昼の時報聞き慣れぬ曲流れおり 市民歌と知り距離縮まりぬ 青い地球猛暑日つづき温暖化 熱中症に気配る日々 軒先の花に二匹の揚げ羽蝶 行く夏徳びしばし見とるる 病娘逝く母の身思い秋庵 一穂大師と秋晴の日に

- 佐藤ヒサ子 (米山) 佐々木康子 (米山) 佐藤 禮子 (米山) 石崎よしの (米山) 佐藤よしの (石越)

応募総数 17 作品

健康

10月の献血日程

- ① 3日(土)
 - ▶イオンタウン佐沼 10:00～11:45 13:00～16:30
- ② 4日(日)
 - ▶迫中江中央公園(第11回登米市産業フェスティバル会場内) 10:00～12:00 13:00～15:00
- ③ 18日(日)
 - ▶イオンタウン佐沼 10:00～11:45 13:00～16:30

※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
☎0220(58)2116

登米いのち ホットテレホン

☎0120(870)108 (登米市民専用)

登米いのちホットテレホンは…
○24時間いつでもかけられます。
○名前を名乗る必要はありません。
○電話相談員は、2年間の研修を終了し、認定された人たちです。
○固定電話のほか、携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

こども夜間安心コール

●電話番号 #8000 (ブッシュ回線の固定電話、携帯電話から) ☎022(212)9390 (ブッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
●相談時間 毎日午後7時～翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応) ☎0229(24)2267

高齢者インフルエンザ予防接種を受けましょう

インフルエンザは、毎年多くの人がかかる感染症です。予防接種について正しく理解し、予防に努めましょう。

【対象者】①満65歳以上(平成27年12月31日現在)※65歳を迎えてから接種してください

【接種期間】平成27年10月13日(火)～平成28年1月30日(土) ※できるだけ年内に受けましょう。

【接種方法】かかりつけの医療機関に予約をしてから接種してください

【接種料金】3500円を上限に助成します(助成額を超える分は自己負担になります)。生活保護世帯の人は自己負担金は無料です

【問い合わせ】▼市民生活部健康推進課(健康推進係) ▼各総合支所市民課(健康づくり係)

聴覚障がい者支援 みみサボサロンを開催

聴覚障がいなどに関連した福祉サービス情報を発信します。補聴器購入助成、手話通訳・要約筆記通訳派遣制度、などの福祉制度と利用方法を分かりやすくご説明します。

【日時・内容】平成27年10月27日(火) 1「聴覚障がい者が使える福祉制度」 午前10時30分～正午

【場所】宮城県立視覚支援学校

【申し込み・問い合わせ】宮城県立視覚支援学校視覚支援教育相談センター(担当Ⅱ 鷲)

☎022(234)6333 FAX022(234)7974 soudan@miyagi-mogakko.nyswan.ne.jp

参加してみませんか「ホッとサロンとめ」

がん患者やその家族などが気軽に集まる場「ホッとサロンとめ」を開催しています。お茶や会話を楽しみながら生活の工夫などを語り合えます。情報交換や交流を通じて悩みや不安を解消、明るく前向きに自分らしく暮らせる機会にしてみませんか。

【開催日・場所】①平成27年10月12日(月)、11月9日(月)、12月14日(月)、平成28年1月11日(月)、2月8日(月)、3月14日(月) ▼迫にぎわいセンター

②平成27年10月26日(月)、平成28年1月25日(月)、2月22日(月)、3月28日(月) ▼市民病院地域医療連携センター1階 がん相談支援室

【時間】午後1時30分～3時

【参加費】無料

【問い合わせ】市民病院地域医療連携室 ☎0220(22)5511

「タオル帽子講習会」受講者募集

タオル帽子はフェイスタオル1枚でき、どなたでも簡単に作れます。「岩手ホスピスの会」が、抗がん剤治療で脱毛した人のために考えたもので、同会の指導の下で製作しています。脱毛した人やご家族、大切な人のために一緒に作りませんか。

【開催日】平成27年10月8日(木)、11月12日(木)、12月10日(木)

「聴覚障がいを語ろう！」

午後1時～2時30分 聞こえに不安を感じたり、困っていることなど、気軽に話しておしゃべりしませんか? ※手話・要約筆記(文字)で通訳します。

【場所】市役所南方庁舎2階 中会議室

【対象者】市内にお住まいの聴覚や言語などに障がいがある、または家族、支援者ほか障がい福祉に興味のある人

【申し込み】申し込み不要。当日会場にお越しください

【問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(障害福祉係) ☎0220(58)5552 FAX0220(58)2375

登米市視覚障がい者情報交流会を開催します

視覚障がい者向けの福祉制

【時間】午後1時30分～3時

【参加費】無料

【問い合わせ】市民病院地域医療連携室 ☎0220(22)5511

10月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
4日	市立豊里病院(豊里町) ☎0225(76)2023	プレミアム歯科(南方町) ☎0220(23)2038
11日	わたなべ内科クリニック(迫町) ☎0220(21)5335	高橋歯科クリニック(迫町) ☎0220(22)7411
12日	菅原内科クリニック(迫町) ☎0220(22)0888	高橋歯科医院(登米町) ☎0220(52)3210
18日	大坂医院(中田町) ☎0220(34)6625	ホワイト歯科(迫町) ☎0220(22)8145
25日	おおたおおたにクリニック(中田町) ☎0220(35)1161	ちば歯科クリニック(迫町) ☎0220(22)6007

●診療時間 9:00～17:00(プレミアム歯科は10:00～18:00)
【休日急患当番医】
●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267(24時間)
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084 ※月～金曜日(休日を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116 ※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

10月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当
1日	迫保健センター 14:00～16:00 ☎0220(22)5554 臨床心理士
5日	津山ふれあいセンター 13:30～15:30 ☎0225(68)3114 医師
14日	豊里公民館 13:30～15:30 ☎0225(76)4113 カウンセラー
20日	石越総合支所 13:30～15:30 ☎0228(34)2113 医師
30日	東和総合支所 13:30～15:30 ☎0220(53)4113 精神保健福祉士

精神科医師などが相談に応じます(要予約)。不明な点は各総合支所市民課に、南方地区の皆さんは、健康推進課にお問い合わせください。

(木)、平成28年1月14日(木)、2月25日(木)、3月10日(木) 【場所】市民病院地域医療連携センター2階 がん相談支援室

【時間】午後1時30分から(2時間程度)

【参加費】千円(型紙代など)

【問い合わせ】市民病院地域医療連携室 ☎0220(22)5511

危険な薬物は買わない 使わない、関わらない

近年、全国で危険ドラッグ使用者による交通事故や犯罪が多発。県内でも昨年、危険ドラッグ使用による死亡事故が発生しました。危険ドラッグは、たつた一度の使用で止められなくなるもの、脳の細胞を破壊するもの、時には死に至るものもあります。麻薬、覚せい剤、危険ドラッグなどの薬物を乱用した結果、つらく苦しい人生を歩むこととなります。薬物乱用は本人だけでなく、その家族や友人も不幸にします。

家庭や地域で「ダメ。ゼッタイ」を合い言葉に、薬物の乱用を撲滅しましょう。

【問い合わせ】登米地区薬物乱用防止指導員協議会事務局(宮城県登米保健所内) ☎0220(22)6120



認知症専門相談

高齢者で「最近物忘れが多くなった、時間や場所が分からなくなる、同じことを何度も繰り返し話すようになった」などの気になる症状がありましたらご相談ください。精神科医が相談に応じます。予約制です。事前に最寄りの地域包括支援センターかケアマネジャーにご連絡ください。

- 【相談日】平成27年10月23日(金)
- 【時間】午後1時30分～
- 【相談場所】市役所南方庁舎1階相談室
- 【連絡先】
 - ▶迫地域包括支援センター ☎0220(22)1152
 - ▶中田・石越地域包括支援センター ☎0220(34)7611
 - ▶石越分室 ☎0228(34)4151
 - ▶東和・登米地域包括支援センター ☎0220(53)4811
 - ▶登米分室 ☎0220(52)5090
 - ▶米山・南方地域包括支援センター ☎0220(29)5821
 - ▶南方分室 ☎0220(58)4311
 - ▶津山・豊里地域包括支援センター ☎0225(68)3780
 - ▶豊里分室 ☎0225(76)4811
 - ▶福祉事務所長寿介護課(介護給付係) ☎0220(58)5551

情報場 Information

お知らせ

平成27年10月以降にマイナンバーを通知

平成27年10月以降にマイナンバーが通知されます。マイナンバーとは、国民一人一人が持つ12桁の番号のことをいいます。年金や雇用保険、各種福祉の給付金、確定申告などの行政手続きに利用できます。

【通知カード】簡易書留で送付されますので、大切に保管してください。

簡易書留には、①通知カード②個人番号カード申請書と返信用封筒③説明書が同封されています。

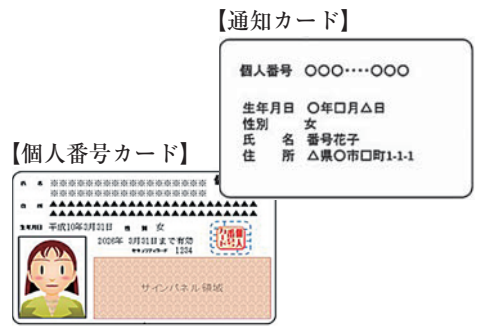
【個人番号カード】申請により無料で交付されます。申請は10月から可能で、交付は平

成28年1月以降になります。申請方法は、簡易書留に同封されている②に必要事項を記入し郵送（申請書には必ず顔写真を貼ってください）または、オンラインで所定のフォームから申請（顔写真のデータが必要）してください。

【個人番号カードの使い道】顔写真付きの公的な身分証明書、e-Taxなどの電子申請、コンビニでの証明書交付などに使用できます。

【問い合わせ】マイナンバーコールセンター ☎0570(20)0178 ※受け付けは、午前9時30分～午後5時30分（土日祝日を除く）

市民生活部市民生活課（戸籍係） ☎0220(58)2118



ファミリーサポート センター協力会員講習会

「子育てを助けてほしい人」と「子育ての手伝いができる人」がそれぞれ会員登録し、地域ぐるみで子育て支援をするファミリーサポートセンター事業。

市内で子育ての手伝いができる人を対象に、第2回協力会員講習会を開催します。

【日時】平成27年10月29日（木）午前10時30分～午後3時15分

【場所】市役所南方庁舎2階中会議室

【申し込み方法】電話でお申し込みください

【申込期限】平成27年10月26日（月）

募集する住宅	
①市営住宅	迫梅ノ木住宅2棟101号 ▶募集戸数=1戸(3LDK)/家賃月額2万200円～3万100円 石越駅前第二住宅7号 ▶募集戸数=1戸(3K)/家賃月額1万3,200円～1万9,600円
②定住促進住宅	中田定住促進住宅2号棟203号(2階) ▶募集戸数=1戸(2DK)/家賃月額=2万4,500円/駐車場なし 豊里定住促進住宅1号棟203号(2階)、2号棟301号(3階) ▶募集戸数=2戸(3DK)/家賃月額=3万500円/駐車場利用は各1台まで

【入居資格】住宅に困っている世帯。※市営住宅は低所得世帯であること、定住促進住宅は一定以上の所得があることなどの要件があります。詳しくは住宅都市整備課、または各総合支所市民課へお問い合わせください。

【申込期限】平成27年10月5日（月）※期限厳守

【その他】東和定住促進住宅は随時募集しています。入居希望の際は住宅都市整備課までお問い合わせください。

【申し込み先】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課（市役所中田庁舎2階）

【問い合わせ】建設部住宅都市整備課（住宅管理係） ☎0220(34)2316

※郵送による申し込みは受け付けできません。

新「道の駅」の名称を「**三滝堂**」に決定

市では本年5月から、三陸自動車道パーキングエリアに整備する「道の駅」の名称を募集したところ、252名の応募がありました。選考の結果、最優秀作品に「三滝堂(みたきどう)」が選ばれました。その他、優秀作品には、「ふくだいら」と「まいや」が選ばれています。たくさんのご応募ありがとうございました。

【問い合わせ】産業経済部商工観光課 ☎0220(34)2734

就学時健康診断

平成28年度小学校入学予定の児童を対象に、健康診断を実施します。対象児童の保護者には、個別に通知します。

【時間】午後1時30分～（受け付け開始は午後0時45分）

【診断科目】内科・眼科・耳鼻科・歯科

【問い合わせ】教育委員会教育委員会事務局（教育振興係） ☎0220(34)2679

就学時健康診断の実施日など

実施日	会場	対象地区
平成27年10月8日(木)	中津山公民館	米山町、南方町
10月29日(木)	森公民館	迫町
11月12日(木)	登米公民館	登米町、東和町、豊里町、津山町
11月26日(木)	石森ふれあいセンター	中田町、石越町

集落営農の組織化と農業経営の法人化

農業者の高齢化や後継者不足などの対策として、集落営農の組織化や、農業経営の法人化といった方法があります。

市の事業を市民の視点で評価

行政サービスの質を向上させるために、行政評価委員が市民の視点で事業の改善に向けて助言をする外部評価を、8月6日（木）市役所迫庁舎で開催しました。

本年度は、登米市行政評価委員会委員5人により、4つの基本事業を単位とした8事業事業を評価し、事務事業の妥当性や事業の有効性などを検証しました。

【問い合わせ】産業経済部農林政策課（経営支援係） ☎0220(34)2491

行政に関する困りごとありませんか

総務省では、平成27年10月19日（月）から25日（日）までを「行政相談週間」と定めています。行政相談は、国や県、市などへの意見、要望などの相談に応じ、その解決や実現をお手伝いするものです。

本市では、左記の日程で特設行政相談所を開設し、行政相談委員が皆さんの相談に応じます。相談は無料です。気軽にご相談ください。

【問い合わせ】総務部総務課（総務法制係） ☎0220(22)2091

今月の夜間相談窓口

【日時】9月24日（木）午後8時まで
 【場所】市役所迫庁舎（1階）総務部収納対策課
 【問い合わせ】総務部収納対策課（徴収対策係） ☎0220(22)2169

ハピ・ふるWedding 結婚を真剣に考えているあなた

TOP 会員募集!!

年間費3,600円 入会費無料 (1ヶ月)300円×12ヶ月 毎年4月～翌年3月まで ※イベント等は実費参加となります。

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字大綱218-1 (コンテナおおみ内)

TEL.070-5474-4683

デイサービス 南方町大門にオープン!!

大門いこいの広場

「大門いこいの広場」は、ゆったり、のんびりできる自由な雰囲気。まるで自分の家で過ごしているような「アットホーム」なデイサービスです。

TEL.(0220)23-9541

登米市南方町原5番地

中田町上沼 大柳デイサービス TEL.(0220)34-8778
 迫町佐沼 大錦デイサービス TEL.(0220)23-9339

確かな技術でまかせて安心

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
 太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
 TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて

KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社

災害時安定供給施設

■アクアショップKUMANEN ■BFCクマネン
 ■コインランドリー 清潔空間 ■なごみの家 きらり

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北畝田120番1
 TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
 http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

登米祝祭劇場 10月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
1(木) ～ 30(金)	●高橋佳子写真展 My World 「私が見てきたワンシーン」 【時間】午前10時～午後5時 (30日は正午まで) 【会場】2階レストラン 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
4(日)	●劇団シアタープロ塾人 第7回演劇公演 「遙か彼方へ～私達は 何故生まれてきたのか～」 【時間】①午後1時30分 ②午後5時 【会場】小ホール 【入場料】大人:1,000円 小中高生500円	劇団シアタープロ塾人 ☎ 080(3664)9216
12(月)◎	●'すくすく・ファミリー コンサート' ～子育て応援マップ &CDプレゼント～ 【時間】午前10時30分 【会場】小ホール 【入場料】500円	すくすく保育研究所 ☎ 090(2999)8253
18(日)	●JAみやぎ登米 第18回アグリフェスタ 【時間】午前9時 【会場】野外劇場ほか 【入場料】無料	JAみやぎ登米 ☎ 0220(22)8211
25(日)	●第24回なかだ音楽祭 【時間】午前9時30分 【会場】大ホール 【入場料】無料	同実行委員会 ☎ 0220(34)3719

※催し物は主催者のご都合により変更や中止になる場合があります。

宮城県議会議員一般選挙 投票日 10月25日(日)

投票時間 午前7時～午後7時まで

市民の意志を県政に反映させるため、棄権せずに投票に行きましょう。

宮城県最低賃金の改正

県内の事業場で働く全ての労働者(臨時、パートなどを含む)に適用される最低賃金が改正されます。

時間額	効力発効日
726円	平成27年10月3日

【問い合わせ】宮城労働局賃金室 ☎022(299)8841

障がい者の自立に向けて
しごと相談を開設

【相談日時】平成27年10月27日(火) ①午前9時30分～②午前11時～③午後1時30分～④午後3時～

【日時】平成27年10月22日(木) 午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

【場所】市役所南方庁舎(2階中会議室)

【予約受け付け・問い合わせ】古川年金事務所 ☎0229(23)1200

【場所】県東部保健福祉事務所登米地域事務所

【相談担当・申し込み・問い合わせ】▼障害者就業・生活支援センター「ゆい」 ☎0220(21)1011

▼福祉事務所生活福祉課(障害福祉係) ☎0220(58)5552

※職業のあつせんではありませんのでご注意ください。

一人で抱え込まないで
多重債務者無料法律相談

市では、弁護士、司法書士と協力し、債務の返済などに

【日時】平成27年10月9日(金)、10月23日(金)午後1時15分～午後4時15分

【場所】迫にぎわいセンター

【担当】9日 柳瀬勝一(司法書士)、23日 開発健次(弁護士)

【相談専用電話】☎0220(34)2308

【相談料】無料(要電話予約)

【問い合わせ】産業経済部商工観光課(商工業振興係) ☎0220(34)2734

はさま童謡を歌う会
ふれあいコンサート

【日時】平成27年10月6日(火) 午後0時20分～0時45分

【場所】市役所迫庁舎(1階ホール)

【合唱曲名】▼幸せなら手をたたこう▼どんぐりころころ▼港▼ながれ星▼登米市市民歌

【問い合わせ】はさま童謡を歌う会 涌井俊衣 ☎0220(22)2435

催し

議会では、市民皆さんからご意見を伺う「意見交換会」を開催します。

今回は議会の活動報告と、「議会、市政に期待すること」「住んでみたくなるまちづくりを考える」というテーマで意見交換します。

議会意見交換会を 市内9会場で開催



行政サービスの質の向上を目指し、事業ごとに質疑応答が交わされました。

評価結果は、市のホームページで公開しています。

【問い合わせ】企画部企画課(行政改革推進係) ☎0220(22)2147

http://www.city.tomeni.yag.jp/kikaku/gaiuhyouka27.html

相談

年金相談に応じます 年金相談所を開設

年金についての相談に応じます。相談は完全電話予約制です。前日までにご連絡ください。

※予約の際に、「相談者氏名」「基礎年金番号」「電話番号」「相談内容」などを確認させて

【問い合わせ】議会議務局 ☎0220(22)1913

日時	会場
10月14日(水) 午後7時～ 8時30分	宝江ふれあいセンター
	豊里公民館
	米山公民館
	石越公民館
10月15日(木) 午後7時～ 8時30分	津山老人福祉センター
	迫公民館
	登米総合支所
	東和総合支所
	南方総合支所

どなたでも、どちらの会場でも参加できます。お気軽に來場し、ご意見をお聞かせください。

【日時・会場】

宝くじ助成で鼓笛隊セットを購入

消防本部では、幼年期から防火について正しい知識を身につけてもらうため、一般財団法人自治総合センターから宝くじの社会貢献広報事業の助成を受けて、ドラムや鉄琴などの幼年消防用の鼓笛隊セットを購入しました。

鼓笛隊セットは8月21日、豊里幼稚園(佐々木裕見子園長、幼年消防クラブ員108人)に寄贈され、イベントなどに活用します。

【問い合わせ】消防本部予防課 ☎0220(22)1900



ねんきんだより

国民年金の加入方法

国民年金は誰もが加入する制度です。日本に住んでいる20歳以上60歳未満の全ての人は、国民年金に加入することになります。

加入者は職業などによって、それぞれ加入手続きが異なります。

【第1号被保険者】自営業者、学生、フリーター、無職の人など。加入手続きは自分で住所地の国民年金担

当窓口(市役所各総合支所窓口)で行います。

【第2号被保険者】会社員や公務員など、厚生年金に加入している人。加入手続きは勤務先が行います。

【第3号被保険者】第2号被保険者に扶養されている配偶者。加入手続きは第2号被保険者の勤務先を経由して行います。

【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係) ☎0220(58)2166

古川年金事務所 ☎0229(23)1200

<p>人と環境への新しい優しさを目指して お気軽にご相談下さい</p>	<p>株式会社 清建</p> <p>環境プロバイタ</p> <p>本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南柳木袋212-3 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658</p>	<p>仙台(営)/〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目18-1 泉ネットワーク・ビル2階 広告 TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980</p> <p>南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313 TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122 URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp</p>
	<p>有限会社 清建物流</p> <p>TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535</p> <p>本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1</p>	<p>有限会社 リースキン宮城</p> <p>TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495</p> <p>〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)</p>

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

安心・安全・安価で予約承り中 広告

お料理 2,000円より承ります (バス送迎無料)

株式会社 刺蒸くまがい

■本社/登米市中田中学校通り TEL.0220-34-5002(代)

■総合センター/中田総合支所通り TEL.0220-34-8707

■花泉営業所/一関市花泉町駅前通り TEL.0191-82-2946

思いやりと真心を感謝の気持ちにこめて 広告

迫町佐沼中江にセレモニールホールオープン!!

さぬま中江齋苑 (ツルハドラック佐沼店様前)

衣駐車場 80台

病院からの搬送、直接ホールに入れます。

一式葬儀料金 20万円

どこよりも安心・安価

株式会社 誠香社

24時間電話受付 23-9270

10月の納税

市県民税・・・第3期
国民健康保険税・・・第5期
介護保険料・・・第5期
後期高齢者保険料・・・第4期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限 / 11月2日(月)

登米市の人口・世帯数

(平成27年8月末現在)

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,537	10,281	10,941	21,222 (▲32)
登米	1,803	2,390	2,617	5,007 (▲1)
東和	2,431	3,345	3,472	6,817 (▲9)
中田	4,937	7,737	8,184	15,921 (1)
豊里	2,142	3,356	3,444	6,800 (▲9)
米山	2,859	4,724	4,950	9,674 (▲15)
石越	1,607	2,545	2,642	5,187 (▲6)
南方	2,640	4,305	4,565	8,870 (▲4)
津山	1,212	1,710	1,862	3,572 (▲2)
合計	27,168	40,393	42,677	83,070 (▲77)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています。

市内の交通事故発生状況

(平成27年8月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H27	H26	増減数
人身事故発生件数	175件	223件	▲48件
死者数	2人	0人	2人
負傷者数	236人	266人	▲30人
物損事故発生件数	1,047件	1,163件	▲116件

※平成27年1月からの延べ件数

警察署からのお知らせ

- 飲酒運転は犯罪です、飲酒運転は絶対にやめましょう。
- 交通事故にご注意を。
- 石越町内で死亡事故が発生しました。車を運転するときは、交差点での安全確認を徹底し、緊張の保持に心掛けましょう。

市内放射線の測定結果

(測定日：平成27年9月8日)

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.06	雨
消防署北出張所(石越)	0.05	雨
消防署東出張所(東和)	0.05	雨
消防署津山出張所	0.05	雨
消防署南出張所(豊里)	0.06	雨
消防署西出張所(南方)	0.05	雨

空間放射線量の測定結果はホームページに掲載およびメール配信しています。

師ハートブライダル 狩野 恵子氏

【女塾】魅力アップ・モテ講座 笑顔美人を目指そう / 講師ハートブライダル 高野真弓氏

【日時】平成27年10月18日(日) 午前10時30分～正午(受け付け 午前10時)

【場所】迫ふるさと交流館(迫町北方字天形114-2)

【参加費】無料

【準備物】女性のみ手鏡(化粧用コンパクト可)

【対象者】20歳代～40歳代までの独身男女

【募集人数】男女各15人

●第3回出会いイベント B B Q 交流会 / 登米市産の食

材で秋を満喫しよう / 【日時】平成27年10月18日(日) 正午～3時

【場所】長沼フットピア公園 キャンプ場(迫町北方字天形・長沼フットピア公園内)

※雨天時は迫ふるさと交流館で開催します。

【参加費】男性3千円、女性千円

【対象者】20歳代～40歳代までの独身男女

【募集人数】男女各15人

【申込締め切り】セミナー・イベントともに10月10日(土) 午後6時まで

【申し込み・問い合わせ】N P O 法人ハビふる Wedding ☎ 070(5474)4683

募集

登米市駅伝競走大会 参加チーム募集

【開催日】平成27年11月3日(火・祝)雨天決行

【開会式】中田総合体育館 玄関前 / 午前8時40分(受け付け 午前7時40分～8時)

【募集期限】平成27年9月30日(水)

【参加資格】市内に居住する人、または市内小・中・高校に在学している生徒ならびに市内事業所に勤務している人なら、誰でも参加できます。

【参加料】有料

【問い合わせ】市駅伝競走大

「ねば」パソコン講習会 受講生募集

会実行委員会事務局(教育委員会生涯学習課内) ☎ 0220(34)2698

【日時】平成27年10月21日(水)、10月22日(木)、10月28日(水)、10月29日(木) / 午後7時～9時

※4日間で1講座です。

【場所】南方住民情報センター(南方庁舎2階)

【内容】表計算ソフトExcel 2013(PC持ち込みの場合) 2007～2010(でも可)を使用。数値や数式による表計算、簡単な野線や表作成、関数などを学びます。

【受講対象】入門講習受講者または同程度の知識のある人。

【対象者】市民または市内に勤務している人。

【使用PC】情報センターのPC(Windows7)を使用しますが、持ち込みPC(Windows Vista・7・8)でも可能です。

【定員】各18人(先着順)

【参加費】千円程度(テキスト代含む)

【申し込み・問い合わせ】南方住民情報センター「るるば」(受け付け 9月25日(金) 午前9時から開始) ☎ 0220(58)5557

※開館日は、火曜日・日曜日、祝日の午前9時～午後5時までです。

歴史博物館企画展 「旅心(たびこころ)」

企画展「旅心」絵はがきと旅道具でめぐるふるさと / 【開催期間】平成27年9月19日(土)～11月1日(日)

【場所】市歴史博物館(企画展示室)

【関連企画】①市内で撮影した写真や思い出写真を期間中持参した人に、先着順で企画展オリジナル絵はがきをプレゼント(写真は簡単な説明付きで専用スペースに展示する予定です)

②「街頭紙芝居上演」旅するヤジさん・キタさんの軽快!愉快!な物語 / 【日時】平成27年10月17日(土) 午後1時30分

【場所】市歴史博物館前

【演者】博物館ボランティア

【入館料】無料

【問い合わせ】市歴史博物館 ☎ 0220(21)5411

●第3回自分磨きセミナー 「異性間コミュニケーション講座」

【男塾】婚活モテ講座 / 雰囲気イケメンを目指そう / 講

登米市市制施行 10周年記念事業

2005.4.1～市制施行10周年 これまでもこれからも

及川浩治 ピアノ・リサイタル

(登米市市民歌原曲のピアノ演奏者)

【日時】平成28年1月24日(日) 開場：午後1時30分、開演：午後2時

【場所】登米祝祭劇場

【入場料(全席指定)】前売り2,000円、友の会員1,400円 当日3,000円 ※未就学のお子様は入場不可。

【チケット予約・販売】平成27年10月24日(土) 午前10時開始

【問い合わせ】登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111

ツアーファイナル特別プログラム

リスト	ショパン
ダンテを読んで～ソナタ風幻想曲	ノクターン第14番嬰へ短調 op. 48-2
コンソレーション(慰め)第3番	ノクターン第15番嬰へ短調 op. 55-1
ラ・カンパネラ [プゾーニ編]	ラフマニノフ
メフィスト・ワルツ第1番	ピアノ・ソナタ第2番変口短調 op. 36

デビュー20周年記念ツアー

～及川浩治 Profile～
1967年生まれ。佐沼高校在学中にヴィオッティ・ヴァルセイジア国際音楽コンクールで第1位を受賞。国立音楽大学に入学後、ブルガリア国立ソフィア音楽院に留学。1990年にマルサラ国際音楽コンクールで第1位を受賞し、その後も各種コンクールで賞を獲得。1995年にサントリーホールでデビュー・リサイタル。佐渡裕指揮のラムルー管弦楽団定期演奏会に招かれてバリでデビュー。現在は、宮城学院女子大学音楽科特任教授。

TOME(登米)のTOME(10名)展

去る平成27年7月3日に亡くなりました高倉勝子先生を悼むとともに、市制施行10周年を記念して河北美術展に入選した本市在住者の作品など10点を展示します。ぜひこの機会にご覧ください。

【日時】平成27年9月15日(火)～10月15日(木) 午前9時～午後4時30分

【場所】登米市高倉勝子美術館(登米町寺池桜小路88-1)

【入場料】大人200円、高校生150円、小中学生100円

【問い合わせ】登米市高倉勝子美術館 ☎ 0220(52)2755

第9回登米市民文化祭

今回の文化祭から「展示発表」と「ステージ発表」を併せて開催します。市内の文化協会会員や児童生徒が日頃の文化活動の成果を発表します。ご近所お問い合わせの上ご来場ください。

【開催日】平成27年10月10日(土)・11日(日)

【展示発表】10日＝午前10時～午後4時、11日＝午前10時～午後3時

【ステージ発表】両日＝午前10時開演(開場午前9時30分)

【場所】登米祝祭劇場

【入場料】無料

【問い合わせ】教育委員会教育部文化財文化振興室 ☎ 0220(34)2332

世界の頂へ

FILE01

和道会空手道 ワールドカップ 2015 優勝

千葉良樹 佐沼中3年 中田町仲町 Ryoki Chiba



2大会連続で優勝を決めた工藤選手(左から2番目)

5年に一度、空手道和道会の世界一を決める「和道会空手道ワールドカップ2015」は8月15、16の両日、愛知県体育館で開かれた。日本代表としてカデット(14、15歳)男子組手に出場し優勝した千葉選手。所属する和道会はさま(武川秀和館長)はもとより、全日本和道会期待のホープだ。

「目標であった工藤開さんに追いつきたいと頑張ってきました。同じ大会で世界一になって本当にうれしいです」と笑顔を見せる。千葉選手が目標としている工藤開さんとは、迫町大綱出身で近畿大学空手道部で主将を務め、全日本大学選手権で2連覇している大学空手界のエース。和道会はさま出身で、5年前に開催されたワールドカップ2010ジュニア男子組手で、今回は一般男子84kg級で優勝。和道会はさまが生んだ、日本のエースとのダブル優勝に喜びもひとしおだ。今大会一番の山場は、スコットランド代表選手との一回戦。「外国人と試合をするのは初めて。普段自分より大きな相手と対戦することはないので、苦戦しました」。千葉選手の身長は179cm。国内で、自分より大きな選手との対戦はほほえない。しかし、世界大会では、10kg以上も大きな選手との戦い。普段は待つて攻めるが、リーチが長く、積極的に動いてくる外国人相手に向かないので、積極的に攻めに出た。慣れない相手と戦法ながらも4-2で勝利した。

「一回戦でリズムに乗れたので、あとは大丈夫でしたね。スロースターターなのですが、エンジンがかかればそのままいけるので」と武川館長は話す。その言葉通り、残り4試合は全て8ポイント差の圧勝。決勝戦も、相手を完封しての勝利だった。空手を始めたのは3歳の頃。2人の兄が、和道会はさまに所属していたことから、4歳で入門。武川館長は「兄弟の中で一番気が強く空手向き。幼稚園の頃は試合前に『絶対負けない』と対戦相手に宣言していましたから」と笑う。「全く覚えていません」と千葉選手も笑う。

全日本空手道連盟和道会
国内1,350支部、海外250支部、会員約185万人、有段者約18万人(1997年9月現在)を擁し、空手団体としては日本有数の規模を誇る。柔術(神道揚心流)の影響が色濃い流派であり「さばき」「流し」「押し」「引き」「入り身」「転身」などの技法が特徴。松濤館流、剛柔流、糸東流と並び、空手の4大流派の一つに数えられている。



まちのトップアスリート
Athlete
Zoom Up Tome 2015
Special

挑戦の夏

この夏、世界と全国の舞台で躍動した
本市内、本市出身の小中高生たち
トップアスリートたちの夏に迫る

夢つないだ夏

第97回全国高校野球選手権大会
準優勝 仙台育英学園高校
三塁手 佐藤将太(3年) 迫町古宿出身
捕手 熊谷慧河(3年) 中田町蓬田出身

第37回全国中学校軟式野球大会
準優勝 秀光中等教育学校
捕手 阿部大夢(3年) 中田町茶畑出身

Seiga Kumagai

Hiromu Abe

Syota Sato

2015年8月20日、阪神甲子園球場。東海大相模対仙台育英戦。県民の悲願である県勢初の甲子園優勝は果たせなかったが、その戦いぶりには、見ているものに勇気と希望を与える見事なものだった。

佐藤選手は三塁手として活躍。決勝戦6回裏、2アウト満塁の場面、走者一掃の三塁打を打ち、同点に追いついた。育英が優勝に近づいた瞬間だ。「重圧がかかるあの場面『将太とかくつないでくれ』と祈っていたところにあのヒット。しびれましたね」と熊谷選手。熊谷選手は控え捕手として、チームの活躍を支えた。「捕手は他と違い、交代出場の可能性が非常に低いポジション。万が一に備えて準備しつつ、チームを支える。誰にでもできることではありません。慧河がいたから決勝まで残りました」と佐藤選手。どちらかがいかなかったら、準優勝という結果は残らなかったかもしれない。

甲子園までの1年間、仙台育英は敗戦と反省を繰り返してきた。昨年の秋季東北地区県大会3回戦。聖和学園にまさかの敗北を喫する。その後、明治神宮野球大会で優勝するが、春季東北地区野球大会で盛岡大付属に敗北。

「一戦一戦大切にしよう」とみんなが誓いました。今年の夏は挑戦者として最後まで望みました。「優勝できなかったのは残念ですが、それ以上にチーム目標の『目の前の試合を全て勝つ』を実現できなかったことが悔しい」佐藤、熊谷両選手は語る。

仙台育英の準優勝から2日後の22日、福島市福島県営あづま球場で、育英の弟分、秀光中が門川中(宮崎県)と全中連覇をかけて対戦した。捕手の阿部主将は甲子園の決勝戦を見て「高校の分まで日本一になりたい」と試合に臨んだ。だが、思うようにチャンスは生かせず、五回のピッチではつり球が抜け、押し出し死球に。「あせってしまった」と悔やんだ。結果、1-5で負け、連覇は夢と消えた。

3人とも、推薦入学ではない。自ら高い志を持ち、強豪私立の門を叩いた。その思いを忘れずに努力したからこそ、ベンチ入りメンバーとなり今回の結果を残せたのだ。

今後の目標を3人に聞いた。「大学に進学して、野球を続けたい。その後のことはまだ考えていません(佐藤)」「競技としての野球は、高校で最後にするつもりです。東京消防庁で救助の仕事をしたと考えています(熊谷)」「育英に進学して、先輩たちの目標『目の前の試合を全て勝つ』を実行して、甲子園で日本一になります(阿部)」

先輩たちが果たせなかった夢は、後輩につながれた。真紅の大優勝旗の白川越えは、そう遠くない日に実現する。そう期待せずにはいられない。

FILE03

夢近づいた夏



全国高校総合体育大会 陸上競技 走り幅跳び 3位

佐々木明日香 Asuka Sasaki

佐沼高3年
迫町大網南

7月28日から8月20日まで和歌山県で開催された全国高等学校総合体育大会。走り幅跳びで5尺87を跳び3位に入賞した。「表彰台に上がれて夢のようでした」と、喜びの表情を見せた。

予選通過記録は5尺75。「試技順が1番ですごく緊張しました。体力温存のためにも、1本目で成功させたかった」。1本目5尺73、2本目5尺74。徐々に通過記録に近づいた。そして運命の3本目。「踏み切る反対の脚をしつかり体に引き寄せることを意識しました」

5尺96。これまでの自己記録を7尺更新。予選1、2組を通じて2位の高記録をマークして決勝に駒を進めた。「プレッシャーはありましたが、予選は通過できると確信していました」。予選での好記録から、更なる記録を期待された決勝。結果は5尺87で3位入賞。佐々木さんは「自己ベストを狙っていましたが、更新はできませんでしたが、今ある力は出し切れました」とにっこり。

予選通過記録は5尺75。「試技順が1番ですごく緊張しました。体力温存のためにも、1本目で成功させたかった」。1本目5尺73、2本目5尺74。徐々に通過記録に近づいた。そして運命の3本目。「踏み切る反対の脚をしつかり体に引き寄せることを意識しました」

体力、技術面では「速く走る」ことを追求した。走り幅跳びで「速く走る」は飛距離を伸ばすための重要な要素。技術が同じなら、助走スピードが速いほど遠くに跳べる。より走りこみにウエイトを置き練習を続けた。走りこみは体力面だけではなく、助走のフォームなどの技術面の練習になる。速い助走でも安定するよう、200尺など長い距離を走り、技術を高めてきた。

この結果、100尺のタイムが0・4秒縮んだ。タイムが縮んだ分、幅跳びの飛距離は伸び、昨年の東北大会から1年で40尺以上記録を更新できたのだ。

最後のインターハイは、3位入賞と自己記録更新を目標に臨み、どちらも達成した。「中学ではできなかった、お世話になった人たちへの恩返しをしたかったので」

高校卒業までの目標は、県記録6尺14の更新。何度も挑んで超えられなかった6尺。このインターハイであと4尺まで迫った。

「4センチの高み」を目指し、努力の日々は変わらない。

全国高校総合体育大会

走り幅跳び



高橋瑞希
(佐沼高1年)

初出場の全国大会。走り幅跳びで5尺67を跳び、自己ベストを更新しましたが予選敗退。もっと跳べたと思うので、自己ベストを更新できたいうれしさよりも、決勝に行けなかった悔しさの方が大きかったです。

助走スピードや踏み切り技術を向上させ、次回は3位以内に入賞したいですね。

アーチェリー



及川志帆
(登米総合産業高3年)

アーチェリーは兄の影響で小4から始めました。高い集中力を求められる競技のため、プレー中は周りに気を取られないようにしています。

大会では緊張もあり、自分の力を発揮できず、予選を突破することができませんでした。

卒業後も競技を続け、将来の夢は国体出場と指導者になることです。

全国中学校陸上競技選手権大会

棒高跳び



高倉康平
(佐沼中3年)

初めての全国大会に緊張しました。その緊張がプレーに影響し、予選敗退。今の力なら入賞できると思っていたので、悔しくて泣きました。

棒高跳びは中1のときに、部活動の顧問をしていた先生から「3年生には全中に行ける」と言われ、始めました。

今後も続け、インターハイに出場したいです。

全国中学校水泳競技大会

水泳1500m自由形



佐々木侑汰
(米山中3年)

全国大会は雰囲気が違うのでとても緊張しました。全国のレベルの高さを実感し、今は悔しいよりも追いつきたいという気持ちが強いです。

高校生になっても水泳を続けたいと思います。

今後の目標は16分15秒をきることにしています。練習はつらいことが多いですが、練習を積んで1秒でも早くなりたいです。

第31回全国小学生陸上競技交流大会
2015年8月22日
神奈川県横浜市日産スタジアム

80メートルハードル



とも
名生倫君
(新田小6年)

予選から調子が良く、自己ベストの13秒04が出ました。準決勝は、スタートで遅れあせてしまいました。結果は5位で決勝には残れませんでした。でも13秒06が出たので、ちゃんとスタートできれば、記録を更新できたと思います。中学に進学したら、陸上部に入り、ハードルをやりたいと思います。

走り高跳び



りゅうき
佐藤琉輝君
(中津山小6年)

走り高跳びは、仲のよい先輩が県大会で3位に入賞したのを見て始めました。全国大会に出場できてうれしかったです。目標は1メートル45でしたが、自己ベスト(1メートル42)を跳ぶことができず悔しかったです。中学に進学したらバスケット部に入部して、そちらで全国に行けるよう頑張りたいです。

80メートルハードル



なつき
工藤凧紗さん
(石越小6年)

ハードル以外にも代表候補に選ばれていましたが、昨年出場した先輩のハードルを跳ぶ姿に憧れ、私も出場しました。スタートはうまくいきましたが、ハードルをうまく飛び越せませんでした。記録は14秒65で予選敗退。大きな舞台上で自己ベスト14秒34を更新することが目標だったので悔しいです。

走り高跳び



ひな
佐々木陽菜さん
(登米小6年)

自己ベストの1メートル28の更新を目指しましたが、調子が悪く前日まで1メートル20しか跳べませんでした。でも本番では「助走の最後3歩を強く」を心掛け、1メートル25まで1回で跳ぶことができました。目標の1メートル30は達成できなかったけど、力を出し切りました。中学ではバスケット部に入り、活躍したいです。

全日本中学校陸上競技選手権大会
100メートルハードル4位

及川優花 中田中3年
Yuka Oikawa 中田町本町畑中

FILE04

飛び越えた夏



8月18日から21日まで北海道で開催された全中陸上大会。100メートルハードルで14秒31の県記録を更新し、4位に入賞した。これまで大会でのベストタイムは14秒51。これを全国の舞台で塗り替えた。「本当にすごかった。鳥肌が立ちました」と話す陸上部顧問の鈴木司先生。今大会の目標は上位入賞。自己ベストを出さない限り、上位進出は望めない。自己への挑戦に向けての目標設定だった。「目標は上位入賞だけど、自分の走りをしようと言われて気が楽になりました」と話す優花さん。

「彼女のよさの1つは集中力の高さ。陸上をするときは、練習、大会ともに別人かと思うほど、アスリートの顔になります」と鈴木先生。これに

対して優花さんは「陸上の時は、スイッチが入るんです」と笑う。優花さんが陸上を始めたのは2歳上の兄大輝さんの影響。仲がよく、大輝さんの陸上の練習についていき、見よう見まねで走っていた。小学5年の市陸上競技大会100メートルで優勝。その後中学2年まで100メートルに出場し、中1、2の時には県大会100メートルで優勝、東北大会では6位に入賞している。

ハードルに転向したのは昨年11月。県強化練習会で、バネの強さ、足さばきの良さにコーチから転向を勧められた。ハードルの経験はなかったが「やってみたくて」と転向を決めた。最初は怖く、思ったように飛べなかったが、練習を重ね「今は飛ぶことが楽しくて仕方ない」という。彼女の活躍の陰には家族の支援が欠かせない。自主トレには、陸上経験者の父満城さんが協力。「お父さんがいろいろ調べて、練習メニューを考えてくれます。とても感謝しています」。優花さんは照れくさそうに話す。これからの目標は10月23日から神奈川県で開催されるジュニアオリンピックでの上位入賞。同大会は大輝さんも出場した大会。種目は違うが、目標である兄の背中が見えてきた。夢を聞くと「高校でインターハイに出場することです」と控えめに話す優花さん。これまで、根気強さと努力で困難を飛び越えてきた。そしてこれからの目標も夢も、目の前のハードル同様飛び越えていくに違いない。

全国高校総合体育大会
カヌースプリント競技 登米高カヌー部
全種目準決勝進出



加藤美奈(2年) 西崎優花(2年) 山内彩未(2年)



佐々木琴(2年) 酒井恵(2年)

シングル 加藤・西崎
ペア 加藤・西崎
フォア 加藤・西崎・佐々木・酒井(サボート)

女子カヤックシングル(200m、500m)
女子カヤックペア(200m、500m)
女子カヤックフォア(200m、500m)

県大会は2年生チームながら、出場した全ての種目で優勝。カヤックシングルでは優勝加藤、3位西崎、カヤックペアでは優勝加藤・西崎、2位佐々木・山内と他を寄せ付けない強さを見せた。「県大会は全員調子よく、納得のいく結果でした」と加藤。

全種目での入賞を目標に臨んだ初のインターハイ。「タイムスケジュールは分刻みでとにかく慌ただしくて。200mなのか500mなのか、ちょっと混乱してしまいました」と西崎が振り返る。その混乱の中でも、予選では各種目で自分たちの持ち味である「後半追い込み」のレースができた。

そして準決勝。各種目、全力で漕いだが決勝へ進むことはできなかった。「後半に力を残す余裕はありませんでした。完璧に力負けでした」全員が実力の差を痛感した。

「全国で戦うためには、全ての面でレベルアップが必要。練習あるのみです」。高校最後の夏に向け、5人はすでに始動した。

全国高校総合体育大会
ボート競技男子シングルスカル6位

小野寺紘都 佐沼高3年
Hiroto Onodera 津山町平形



目標はインターハイではなかった。しかも、国内ではなく世界。本年8月にブラジルリオデジャネイロで開催された2015年世界ジュニアボート選手権大会への出場だった。世界ジュニア出場には、JOCジュニアオリンピックカップ・全日本ジュニアボート選手権大会での上位入賞が必須条件。高校3年間の全てをここににかけていた。

本番を前に大会が続き、調子が上がらないままジュニアオリンピックへ。2回戦で敗退し小野寺は選考から漏れた。「ベストの調整をできなかった自分のせい。リオに行けなかった分、インターハイは渡さないって思いました」と語る小野寺。

予選、準々決勝と順調に勝ち進み迎えた準決勝。思ったとおりのレース展開に持ち込めず、2位でゴール。順位決定戦に回るようになった。

「今年は、勝負どころで勝てなくて本当に悔しい。秋の国体では絶対結果を出します」とリベンジを誓う。今後の目標を尋ねると「大学でしっかり鍛えて、東京オリンピック出場です」。5年後に向け、すでに漕ぎ出している。

Zoom Up Tome 2015 Special

この夏の結果に満足した人も、不完全燃焼だった人も、競技を続ける人も、引退する人も「あきらめない」で挑み続けたからこの舞台に立てたあきらめない限り、「挑戦の夏」は終わらない

挑戦の夏



全国中学校ソフトボール大会
佐沼中男子ソフトボール部

「全国で1勝」を目標に掲げ、挑んだ全中。初戦の鳴門教育大学付属中学校(徳島県)に、5対9で敗退した。目標は達成できなかったが、チームの実力を発揮できたので、悔いは残らなかった。

「今大会では2年生もレギュラーで出場。今回の経験を自信にして楽しんで試合をすれば、全国でも勝てます」と鈴木主将。「全国で1勝」の夢を後輩に託した。

2年生主体のチームで、昨年の新人大会と県大会を連覇。古豪を復活させたが、東北大会では今ひとつ波に乗れず2引き分けに終わった。「宮城とは違うカラーの剣道に戸惑いました」と岩城主将。

迎えた本番、愛知県代表西尾中と長野県代表柳町中とのリーグ戦で1勝1敗。勝者数差で決勝トーナメントには進めなかった。「どんな相手でも勝てる攻めの剣道を身に付け、来年は上位入賞を目指します」。

全国中学校剣道大会
中田中女子剣道部



全国高校総合体育大会
ボート競技女子シングルスカル8位

小野寺晴美 佐沼高3年
Harumi Onodera 栗原市若柳出身



2年時に続き、2回目となったインターハイ。前は準決勝で負け短い夏に終わった。今回の目標は決勝進出。小野寺は「決勝と順位決定戦では雲泥の差。決勝に残れば、多少実力差があってもワンチャンスで表彰台に行けますから」と決勝への思いを語る。

県、東北大会は順調だった。大会前の練習、大会中のレース運び、危なげなく県と東北を突破し迎えたインターハイ。

決して調子は悪くないものの、なかなか上向きならず予選を迎えた。予選では「相手に恵まれました」というものの、安定感のある漕ぎを見せ1位。準々決勝は波が高い悪条件。これに動揺してしまい、スタートで力を使いすぎたものの、準決勝へと駒を進めた。準決勝では、課題であるスタートを失敗、それが最後まで尾を引き2位に。決勝進出はならず、順位決定戦に回った。

「大学に進学してもボートを続けます。インターハイの借りはインカレで返します」

彼女の夏はまだ終わらない。

ときめき人

Tokimeki bito



地元の良さを再発見してほしい

登米町・鉄西

須藤 勝子さん

すとう・かつこ
1954年(昭和29年)生まれ 血液型/A型

Profile

栗原市出身、登米町在住。大学卒業後38年間教員を務め、今年3月に登米小学校で定年を迎えた。趣味は登山と写真、料理。登山は主に東北地方の山々を登り、写真は高山植物や子どもたち、市内の動植物を撮影。本に掲載している写真は自ら撮影したもの。



—「登米探訪」—
A4判カラー(147ページ)
遠山之里、市内書店、仙台丸善などで販売中

「どこの地域にも、その地域ならではの良さがある。自分の地域の良さを再認識してほしい」。今年3月登米町の歴史や自然、食文化をまとめた『登米探訪』を自費出版した須藤さん。

前登米小学校長の須藤さんが、本を書いたきっかけの一つは東日本大震災。震災当時、気仙沼市内の小学校に勤務していた。日常の当たり前が、一瞬でなくなることを目の当たりにした。学校の歴史や美しい自然、地域の資源を記録として残しておかなければと。その思いが強くなり、校長を歴任した小学校でこれまで3冊の本を発行した。

1983年から6年間、登米小学校の教諭を務め、2013年に校長として再赴任。定年までの2年という限られた時間の中で休日を利用して、資料や文

献を調べ取材。写真や分かりやすい解説文で、誰にでも読んでもらえるよう心掛け編集した。江戸時代からの歴史や美しい自然、今回は人と土地の繋がりにもスポットをあて、初めて食文化にも触れた。また「自分の生まれ育ったふるさとを知り、ふるさとに誇りを持って生きていく子どもたちが育っていくことを願っています」と、あとがきに書いたとおり、本稿の随所で子どもたちへの思いが書かれている。

登米に暮らし、地元を愛する須藤さん。「これまで支えてくれた人たちにお返ししたい」と、現在は観光ガイドボランティアとして活動している。訪れた人にも分かりやすく登米の良さを伝えたい。今日も須藤さんは笑顔で出迎える。

編集後記

▼特集と第2特集の空手、野球などを担当。一流のアスリートたちの話を聞かせてもらった。年齢、種目は違えど、全員に共通しているのは①自分の競技が好き ②周囲への感謝の気持ちを持っている ③努力を続けている。スポーツと仕事、ジャンルは違えど大切なものは変わらない。(及川)

▼取材で登米町の教育資料館に行ってきた。取材を終え、帰ろうとしたときに敷地内にある石碑が目にとまりました。登米町の名誉町民、渡邊政人の遺訓が記された顕彰碑です。郷土を愛し、郷土の発展に尽くした偉人。その言葉に胸が熱くなりました。(佐藤)

▼広報とめのコーナーには、特集やときめき人などがあります。皆さんのご協力があります。広報は作られます。広報に載る機会はめったにないものです。その人にとって、一生の思い出になるかもしれません。皆さんの輝きを、文章や写真でうまく表現できるように頑張ります。(田代)



モバイルとめ
(携帯電話版ホームページ)
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<http://tomecity.mail-dpt.jp/>